



Cisco Unified Communications Manager Assistant ユーザ ガイド for Cisco Unified Communications Manager 6.0

Contents

このマニュアルについて	v
概要	vi
マニュアルの構成	vii
オンライン ヘルプの使用方法	viii
関連マニュアル	ix
技術情報、サポート、およびセキュリティ ガイドラインの入手方法	ix
Cisco Unified Communications Manager Assistant の概要	1
共有回線モードとプロキシ回線モードの説明	2
共有回線モードでの Manager Assistant の使用方法	2
プロキシ回線モードでの Manager Assistant の使用方法	3
マネージャの電話機でモードを識別する方法	4
Assistant Console でモードを識別する方法	6
他の言語のサポート	7
Cisco Unified Communications Manager Assistant Console スタートアップガイド	8
Assistant Console スタートアップガイド	10
Assistant Console へのログイン方法	10
Assistant Console からのログアウト方法	11
マネージャをサポートせずにコンソールにアクセスする方法	11
コンソールの機能を使用する方法	12
メニューバーの使用方法	13
コール制御ボタンの使用方法	13

マイコール パネルの使用方法	17
マイマネージャ パネルの使用方法	18
短縮ダイヤル機能の使用方法	21
ディレクトリの使用方法	22
ステータスバーの使用方法	23
コンソール レイアウトの調整	23
管理用設定の表示	24
初期設定の設定	25
マウスとキーボードを使用したコンソールの使用方法	25
コンソールからインターコム機能を使用する方法	27
キーボード ショートカットの使用方法	29
アシスタントおよびマネージャによる Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用方法	31
Assistant Console を使用したコールの処理方法	32
コールの発信方法	33
コールへの応答方法	34
コールの終了方法	34
コールの保留方法	35
コールの保留解除方法	35
コールの転送方法	36
電話会議の設定方法	38
別の番号にコールを即時転送する方法	39
リダイレクトの使用方法	39
転送先の設定方法	40
ボイス メッセージ サービスへのコール送信方法	41
アシスタント側：電話機での Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用方法	42
プロキシ回線モードと共有回線モード	44

共有回線モード	44
プロキシ回線モード	44
モードの識別	44
アシスタントの電話機の Manager Assistant へのログイン	45
マネージャのステータスの確認	46
マネージャ ステータス画面での情報表示	46
コール ステータス アイコン	47
コールの処理とその他のアクションの実行	48
電話機で Manager Assistant を使用してコールに応答する方法	49
マネージャの設定	50
アシスタントの設定	52
呼出音のカスタマイズ方法	55
マネージャ側：共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用方法	56
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	57
コールの即時転送および転送の方法	58
着信コールを別の番号へただちにリダイレクトする方法	58
ボイス メッセージ サービスへのコール転送方法	58
インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法	59
電話機での呼出音の消音方法	61
マネージャ側：プロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用方法	62
スタートアップ ガイド (マネージャ側)	63
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	63
アシスタント選択の概要	63
ステータス ウィンドウの使用方法	65
電話機でのマネージャ ステータス メニューの使用方法	69
着信コールのアラート トーンの設定	70

コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法	71
アシスタントの電話機で呼び出し中のコールを割り込み受信する方法	71
着信コールを別の番号へただちにリダイレクトする方法	72
別の番号にすべてのコールをリダイレクトする方法	72
ボイス メッセージ サービスへのコール転送方法	73
コール フィルタリングの使用方法	74
インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法	77
電話機での呼出音の消音方法	79

マネージャ機能の設定方法 80

マネージャの設定画面へのアクセス方法	81
マネージャの設定画面へのアクセス方法 (マネージャ側)	81
マネージャの設定画面へのアクセス方法 (アシスタント側)	82
マネージャへのデフォルト アシスタントの割り当て方法	83
マネージャの転送先設定方法	84
マネージャのフィルタ リスト作成方法	85

索引

このマニュアルについて

ここでは、このマニュアルの対象読者と表記法について説明します。

次の項目について説明します。

- [概要 \(P.vi \)](#)
- [マニュアルの構成 \(P.vii \)](#)
- [オンライン ヘルプの使用方法 \(P.viii \)](#)
- [関連マニュアル \(P.ix \)](#)
- [技術情報、サポート、およびセキュリティ ガイドラインの入手方法 \(P.ix \)](#)

概要

Cisco Unified Communications Manager Assistant は、マネージャおよびアシスタントがより効率的に作業できるように電話システムの機能性を高める機能です。『Cisco Unified Communications Manager Assistant ユーザガイド』では、Cisco Unified Communications Manager Assistant の機能を使用する上で役立つ説明および例を記載しています。

Cisco Unified Communications Manager Assistant のユーザはすべて、このマニュアルを読む必要があります。ここでユーザとは、マネージャおよびアシスタントを指しています。

マネージャ

Cisco Unified Communications Manager Assistant の「マネージャ」に着信したコールは、アシスタントが割り込みで受信し、アシスタントヘリダイレクトされます。マネージャは、少なくとも 1 人のアシスタントによってサポートされます。

マネージャは、Cisco Unified IP Phone で Cisco Unified Communications Manager Assistant を直接使用できます。また、[マネージャの設定] 画面でマネージャ機能を設定したり、アシスタントに初期設定を依頼することもできます。

詳細については、P.80 の「[マネージャ機能の設定方法](#)」を参照してください。

アシスタント

Cisco Unified Communications Manager Assistant の「アシスタント」とは、マネージャの代わりにコールを処理するユーザをいいます。

Cisco Unified Communications Manager Assistant は、機能の設定および使用方法に応じて、本来はマネージャに宛てられていた着信コールを自動または手動で割り込んで受信し、その着信コールを別のターゲット（つまり、マネージャのアシスタント）にリダイレクトします。アシスタントは、Cisco Unified Communications Manager Assistant がリダイレクトしたコールを処理（応答、転送、相手を限定した転送など）することができます。

1 人のアシスタントは最大 33 人のマネージャをサポートできます。

アシスタントは、Assistant Console というアプリケーションを使用して、Cisco Unified Communications Manager Assistant のほぼすべての機能を使用できます。Assistant Console を使用すると、次の操作を実行できます。

- コールに対して、通話、応答、転送、保留、切断、指定したマネージャへ転送、会議参加者の追加の処理を行う。
- マネージャのコール アクティビティおよび機能ステータスを監視する。
- マネージャ機能を有効または無効にする。
- マネージャ機能を設定する。

マニュアルの構成

表 1 に、このマニュアルの構成を示します。

表 1 Cisco Unified Communications Manager Assistant ユーザ ガイドの構成

章	説明
「Cisco Unified Communications Manager Assistant の概要」	Cisco Unified Communications Manager Assistant が、共有回線モードの場合、プロキシ回線モードの場合、およびどちらのモードを使用しているか識別する方法について説明します。
「Cisco Unified Communications Manager Assistant Console スタートアップ ガイド」	アシスタントを対象に、Assistant Console の全体的な概要を示します。
「Assistant Console を使用したコールの処理方法」	アシスタントを対象に、Assistant Console を使用して、1 ~ 5 人のマネージャのコールおよび機能を処理および監視する方法について、タスクベースで説明します。
「アシスタント側：電話機での Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用方法」	アシスタントの Cisco Unified IP Phone で、呼出音の選択機能、ソフトキー、インターコムを使用する方法について説明します。
「マネージャ側：共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用法」	共有回線モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用方法について説明します。
「マネージャ側：プロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用法」	マネージャの Cisco Unified IP Phone で Cisco Unified Communications Manager Assistant のメニュー、ソフトキー、ステータス ウィンドウを使用して、コールを処理し、アシスタントのコール アクティビティをプロキシ回線モードで監視する方法について説明します。
「マネージャ機能の設定方法」	マネージャおよびアシスタントが、[マネージャの設定] 画面を使用してマネージャ機能をカスタマイズする方法について説明します。

オンライン ヘルプの使用方法

Cisco Unified Communications Manager Assistant のオンライン ヘルプ システムには、タスクベースのヘルプと、Cisco Unified Communications Manager Assistant のほぼすべてのユーザ インターフェイスからアクセスできる文脈依存ヘルプがあります。

オンライン ヘルプにアクセスするには、? ボタンをクリックするか、コンソール上部のメニュー バーにある [ヘルプ] をクリックします。

ヘルプ ウィンドウでは、ツールバーにある [検索] をクリックすると、『Cisco Unified Communications Manager Assistant ユーザ ガイド』の全体をキーワードで検索することができます。マニュアルの PDF 版を参照するには、PDF をクリックしてください。



(注) 検索機能は、オンライン ヘルプの一部のバージョンでは動作しないことがあります。

マニュアルの PDF 版を参照するには、Adobe Acrobat がインストールされている必要があります (個別のアプリケーションまたはブラウザのプラグインとして)。

関連マニュアル

Cisco Unified IP Phone マニュアルの詳細については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

技術情報、サポート、およびセキュリティ ガイドラインの入手方法

マニュアル、サポート、セキュリティ ガイドライン、および推奨エイリアスと Cisco のマニュアル全般の入手に関する情報については、毎月発行される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。次の URL にも新規および改訂版のシスコの技術情報が記載されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

Cisco Unified Communications Manager Assistant の概要

Cisco Unified IP Phone を使用するネットワークでは、最大 3,500 人のマネージャと最大 3,500 人のアシスタントに対応できます。大規模ネットワークでは、マネージャとアシスタントには、外部ネットワークと内部ネットワークの両方から大量のコールが着信する場合があります。

Cisco Unified Communications Manager Assistant には、マネージャとアシスタントがこのようなコールをより効率的に処理できるようにする、コールルーティング機能やその他の機能が備わっています。

この章は、次の項で構成されています。

- [共有回線モードとプロキシ回線モードの説明 \(P.2\)](#)
- [マネージャの電話機でモードを識別する方法 \(P.4\)](#)
- [Assistant Console でモードを識別する方法 \(P.6\)](#)

共有回線モードとプロキシ回線モードの説明

Cisco Unified Communications Manager Assistant は、共有回線モードとプロキシ回線モードの 2 つのモードで動作します。利用できる機能は、Cisco Unified Communications Manager Assistant 設定でシステム管理者が選択したモードに基づきます。

この項では、次の項について取り上げます。

- [共有回線モードでの Manager Assistant の使用方法 \(P.2\)](#)
- [プロキシ回線モードでの Manager Assistant の使用方法 \(P.3\)](#)

共有回線モードでの Manager Assistant の使用方法

Cisco Unified Communications Manager Assistant が共有回線モードに設定されている場合、マネージャとアシスタントは電話番号（たとえば、8001）を共有します。アシスタントは、共有電話番号でマネージャへのコールを処理します。8001 番にマネージャへのコールが着信すると、マネージャとアシスタントの両方の電話機で呼出音が鳴ります。

共有回線モードの Cisco Unified Communications Manager Assistant では、デフォルトのアシスタントの選択、アシスタント モニタ、コール フィルタリング、すべて転送、などの機能は利用できません。アシスタントは、Assistant Console アプリケーションでこれらの機能を参照することもアクセスすることもできません。アシスタントの電話機には、すべて転送機能のソフトキーがありません。マネージャの電話機には、アシスタント モニタ、コールの割り込み受信、およびすべて転送、といった機能のソフトキーがありません。

ユーザが共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するアシスタントの場合、コールを受信するためにログインする必要はありません。マネージャへのコールが着信すると、自動的にアシスタントの電話機で呼出音が鳴ります。アプリケーションを使用してコールを処理する場合や、電話機のソフトキーを使用してコールをマネージャのボイス メッセージ システムに転送する場合は、Assistant Console にログインする必要があります。Assistant Console の使用方法の詳細については、「[Assistant Console スタートアップ ガイド](#)」を参照してください。

ユーザが共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するマネージャの場合、最大 10 人のアシスタントと電話番号を共有できます。電話番号を共有するどのアシスタントも、コールに応答して処理できます。「[マネージャ側：共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用法](#)」を参照してください。

関連項目

- [プロキシ回線モードでの Manager Assistant の使用方法 \(P.3\)](#)
- [マネージャの電話機でモードを識別する方法 \(P.4\)](#)
- [Assistant Console でモードを識別する方法 \(P.6\)](#)

プロキシ回線モードでの Manager Assistant の使用方法

Cisco Unified Communications Manager Assistant がプロキシ回線モードに設定されている場合、マネージャとアシスタントは電話番号を共有しません。アシスタントは、プロキシ番号を使用してマネージャへのコールを処理します。プロキシ番号はマネージャの電話番号ではなく、システムによって選択された代行番号です。アシスタントはこの番号を使用して、マネージャのコールを処理することになります。

プロキシ回線モードの場合、マネージャとアシスタントは、デフォルトのアシスタントの選択、アシスタント モニタ、コール フィルタリング、すべて転送など、Cisco Unified Communications Manager Assistant のすべての機能にアクセスできます。

ユーザがプロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するアシスタントの場合、Assistant Console にログインし、マネージャへのコールを自分の電話機で受信するためにフィルタを有効にする必要があります。コールの応答や転送など、Assistant Console アプリケーションのコール処理機能すべてを使用できます。Assistant Console の使用方法の詳細については、「[Assistant Console スタートアップガイド](#)」を参照してください。

ユーザがプロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するマネージャの場合、着信コールを選択してアシスタントに送信するためのフィルタを設定できます。Cisco Unified Communications Manager Assistant の機能すべての使用方法については、「[マネージャ側：プロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用法](#)」を参照してください。

関連項目

- [プロキシ回線モードでの Manager Assistant の使用方法 \(P.3\)](#)
- [マネージャの電話機でモードを識別する方法 \(P.4\)](#)
- [Assistant Console でモードを識別する方法 \(P.6\)](#)

マネージャの電話機でモードを識別する方法

マネージャの電話機で Cisco Unified Communications Manager Assistant のモードを識別するには、受話器を持ち上げ、再度置くことで、電話機の LCD ディスプレイをリセットします。

LCD ディスプレイのステータス ウィンドウにアイコン（ベルまたは線で消されたベルのアイコン）が 1 つだけ表示されている場合は、共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用しています（[図 1](#) または [図 2](#) を参照）。「[マネージャ側：共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用方法](#)」を参照してください。

図 1 共有回線モードにおける Cisco Unified IP Phone (7940G または 7960G) の LCD ディスプレイにあるステータス ウィンドウ



図 2 共有回線モードにおける Cisco Unified IP Phone (7941G、7941G-GE、7961G、7961G-GE、7970G、7971G-GE) の LCD ディスプレイにあるステータス ウィンドウ



LCD ディスプレイのステータス ウィンドウに複数のアイコンが表示されている場合は、プロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用しています（[図 3](#) または [図 4](#) を参照）。「[マネージャ側：プロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用方法](#)」を参照してください。

図 3 プロキシ回線モードにおける Cisco Unified IP Phone (7940G または 7960G) の LCD ディスプレイにあるステータス ウィンドウ



図 4 プロキシ回線モードにおける Cisco Unified IP Phone(7941G、7941G-GE、7961G、7961G-GE、7970G、7971G-GE) の LCD ディスプレイにあるステータス ウィンドウ



関連項目

- [共有回線モードでの Manager Assistant の使用方法 \(P.2\)](#)
- [プロキシ回線モードでの Manager Assistant の使用方法 \(P.3\)](#)
- [Assistant Console でモードを識別する方法 \(P.6\)](#)

Assistant Console でモードを識別する方法

Assistant Console で Cisco Unified Communications Manager Assistant のモードを識別するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Assistant Console アプリケーションにログインします。P.10 の「Assistant Console へのログイン方法」を参照してください。

ステップ 2 [マイコール] パネルで、マネージャの名前の横にある内線番号を見つけます。P.17 の「マイコールパネルの使用法」を参照してください。

ステップ 3 同じマネージャについて、[マイマネージャ] パネルで、[コール詳細] カラムの電話アイコンの横にある内線番号を見つけます。P.18 の「マイマネージャ パネルの使用法」を参照してください。



(注) 電話アイコンの横に番号が表示されていない場合は、[コール詳細] 見出しの境界をクリックしながらドラッグして、カラムの幅を広げてください。

内線番号が同じ場合は、共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用しています。アシスタントとマネージャは、同じ電話番号を持ち、回線を共有しています。

内線番号が異なる場合は、プロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用しています。アシスタントには、マネージャに代わってコールを処理するための代行電話番号が割り当てられています。代行番号は、マネージャの実際の電話番号を表すプロキシ番号です。



(注) 共有回線モードの場合、[マイマネージャ] のウィンドウ パネルには、[マネージャ]、[インターコム] [サイレント] および [コール詳細] の 4 つの見出しが表示されます。プロキシ回線モードの場合、さらに [すべて転送] [アシスタントモニタ] [コールフィルタ] および [フィルタモード] の見出しも表示されます。

関連項目

- 共有回線モードでの Manager Assistant の使用方法 (P.2)
- プロキシ回線モードでの Manager Assistant の使用方法 (P.3)
- マネージャの電話機でモードを識別する方法 (P.4)

他の言語のサポート

Cisco Unified Communications Manager Assistant は、アラビア語やヘブライ語など、さまざまな言語をサポートしています。



(注) アラビア語またはヘブライ語を使用する場合、Cisco Unified Communications Manager Assistant の画面表示は、これらの言語を記述する際の右から左方向を反映するように変更されます。

電話機で他の言語を使用する方法の詳細については、システム管理者に問い合せてください。

Cisco Unified Communications Manager Assistant Console スタート アップガイド

Assistant Console アプリケーションを使用すると、アシスタントはマネージャへのコールをより効率的に処理できます。Cisco Unified Communications Manager Assistant は、共有回線モードとプロキシ回線モードの 2 つのモードで動作します。ここで説明する機能へのアクセス方法は、Cisco Unified Communications Manager Assistant 設定でシステム管理者が選択したモードに基づきます。共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するアシスタントには、マネージャと同じ電話番号が割り当てられます。この共有番号を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。ユーザがプロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するアシスタントの場合、マネージャには電話番号が割り当てられ、ユーザにはプロキシとして使用する代行電話番号が割り当てられます。このプロキシ番号を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。最初に、システム管理者が選択したモードを識別する必要があります。詳細については、P.6 の「Assistant Console でモードを識別する方法」を参照してください。

ユーザはアシスタントとして Assistant Console アプリケーションを使用し、自分のコンピュータで Cisco Unified Communications Manager Assistant 機能にアクセスできます。

Assistant Console を使用して、次の作業を実行できます。

- コールの発信、応答、指定した相手への転送、転送、終了、または保留
- 会議参加者のコールへの追加
- 短縮ダイヤルの使用
- ディレクトリの検索
- マネージャへのインターコム回線の接続



(注) 電話機でインターコム機能を使用できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

- マネージャのコール アクティビティの監視
- マネージャの機能および設定の変更

- コール処理ツールのカスタマイズ
- 対話型音声システムに対応した仮想キーボードでの番号入力

関連項目

- [共有回線モードとプロキシ回線モードの説明 \(P.2\)](#)
- [Assistant Console スタートアップガイド \(P.10\)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27\)](#)
- [キーボードショートカットの使用方法 \(P.29\)](#)
- [アシスタントおよびマネージャによる Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用方法 \(P.31\)](#)



(注) Cisco Unified Communications Manager Assistant では、ユーザ自身と 33 人のマネージャを対象にコールを処理できません。

Assistant Console スタートアップ ガイド

この項では、次のトピックについて説明します。

- [Assistant Console へのログイン方法 \(P.10\)](#)
- [Assistant Console からのログアウト方法 \(P.11\)](#)
- [マネージャをサポートせずにコンソールにアクセスする方法 \(P.11\)](#)
- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12\)](#)
- [マウスとキーボードを使用したコンソールの使用方法 \(P.25\)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27\)](#)

Assistant Console へのログイン方法

1 人または複数のマネージャに代わってコールを処理するには、Assistant Console にログインします。ログインするとオンライン状態になり、コールを処理する準備が整います。

ログインするには、[Cisco Unified Communications Manager Assistant のログイン] ダイアログボックスにユーザ ID とパスワードを入力します。ユーザ ID とパスワードはシステム管理者が付与します。



(注) Cisco Unified Communications Manager Assistant でログイン情報を記憶しておくように設定できません。

デスクトップに Assistant Console が表示されます。

これでログインしたことになり、ログオフするまでマネージャにコール処理サポートを提供できます (あるいは、オンライン、接続済み、またはコール制御のステータスに変化があるまで提供できます。ステータス情報の詳細については、[P.23 の「ステータスバーの使用法」](#)を参照してください)。

ヒント

- コンソールの [マイマネージャ] パネルには、どのマネージャがサポートを求めているかが表示されます。マネージャ名の横にある 2 つの緑色の矢印は、そのマネージャがログインしていて、サポートを求めているという意味です。名前が薄い灰色で表示されているマネージャは、サポートを必要としていません。
- [Cisco Unified Communications Manager Assistant のログイン] ダイアログボックスの [設定] ボタンをクリックすると、基本的な管理設定および詳細な管理設定をモニタリングできます。問題の解決を支援するため、システム管理者からこれらの設定のモニタリングを依頼される場合もあります。システム管理者に指示されない限り、これらの設定は変更しないでください。

関連項目

- [Assistant Console からのログアウト方法 \(P.11 \)](#)
- [マネージャをサポートせずにコンソールにアクセスする方法 \(P.11 \)](#)
- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12 \)](#)
- [マイマネージャ パネルの使用法 \(P.18 \)](#)
- [マウスとキーボードを使用したコンソールの使用法 \(P.25 \)](#)

Assistant Console からのログアウト方法

Assistant Console からログアウトするには、コンソール上部のメニューバーから **[ファイル] > [終了]** をクリックします。**[このパスワードを保存する]** オプションをオンにしておくと、次回 Assistant Console をユーザのコンピュータで起動したときに、自動的にログインされます。



(注) 共有コンピュータを使用している場合、Assistant Console からログアウトする必要があるときは、メニューバーから **[ファイル] > [ログアウト]** をクリックします。Assistant Console のログインダイアログボックスが表示されます。ただし、ユーザ ID とパスワードを使用した自動ログインは行われません。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップガイド \(P.10 \)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27 \)](#)
- [キーボードショートカットの使用法 \(P.29 \)](#)

マネージャをサポートせずにコンソールにアクセスする方法

プロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用している場合、マネージャに対しユーザ自身を無効にした状態で、Assistant Console を調べることができます。共有回線モードの場合は、オフライン接続してコンソールを調べることはできません。

マネージャをサポートせずにコンソールにアクセスするには、通常どおりログインしてから **[オフライン接続]** コール制御ボタンをクリックします。これは、画面の上部または横にあるアイコン列の最初のアイコン ボタンです。またこの作業は、メニューバーから **[ファイル] > [オフライン接続]** を選択しても実行できます。

このようにしてオフライン状態にすると、ユーザがサポートしていたマネージャは Cisco Unified Communications Manager Assistant によって別のアシスタントに移ります。オフラインの間、アシスタントはマネージャへのコールを受信できません。また、コンソールの [マイマネージャ] パネルは非アクティブになります。

オンラインに戻ると、再びマネージャへのサポートが可能な状態になります。Cisco Unified Communications Manager Assistant によって、以前（オフラインになる前に）サポートしていたマネージャに戻される場合があります。これは、その他のアシスタントが利用できるかどうか、およびマネージャのデフォルトアシスタントにユーザが指定されているかどうかによって異なります。デフォルトのアシスタントの割り当て方法については、P.83 の「[マネージャへのデフォルトアシスタントの割り当て方法](#)」を参照してください。

オンライン状態に戻るには、[[オンライン接続](#)] コール制御ボタンをクリックします（これは [オフライン接続] ボタンと同じボタンです）。または、メニューバーから [[ファイル](#)] > [[オンライン接続](#)] を選択します。



ヒント オンラインステータスは、コンソール右下隅のステータスバーで確認できます。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップガイド \(P.10\)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27\)](#)
- [キーボードショートカットの使用方法 \(P.29\)](#)

コンソールの機能を使用する方法

次の項では、Assistant Console の機能を確認し、各機能を制御する方法およびコールを処理する方法について示します。

- [メニューバーの使用方法 \(P.13\)](#)
- [コール制御ボタンの使用方法 \(P.13\)](#)
- [マイコールパネルの使用方法 \(P.17\)](#)
- [マイマネージャパネルの使用方法 \(P.18\)](#)
- [短縮ダイヤル機能の使用方法 \(P.21\)](#)
- [ディレクトリの使用方法 \(P.22\)](#)
- [ステータスバーの使用方法 \(P.23\)](#)
- [コンソールレイアウトの調整 \(P.23\)](#)
- [管理用設定の表示 \(P.24\)](#)

メニューバーの使用方法

メニューバーは Assistant Console の上部にあります。メニュー コマンドは、状況依存コマンドです。

メニューバーは次のように使用します。

- [ファイル]: オンラインまたはオフライン状態への移行、ログインまたはログアウト、コンソールの終了
- [編集]: 短縮ダイヤルの作成と編集、キーボード ショートカットの個別設定、転送先の変更、初期設定、および管理者用の設定
- [表示]: テキスト サイズとカラー スキームの指定、デフォルトのウィンドウ レイアウトへのリフレッシュ
- [コール]: ダイヤル、応答、終了、保留、転送、指定した相手への転送、あるいは会議参加者をコールに追加
- [マネージャ]: マネージャへのインターコム コール発信、[マネージャの設定] ウィンドウへのアクセス、マネージャ用機能の有効化または無効化



(注) 電話機でインターコム機能を使用できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

- [ヘルプ]: オンライン ヘルプへのアクセス

関連項目

- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12 \)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27 \)](#)
- [キーボード ショートカットの使用方法 \(P.29 \)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32 \)](#)

コール制御ボタンの使用方法

コール制御ボタン (画面の上部または横にあるアイコン列) をクリックして、Assistant Console の操作を実行できます。コール制御ボタンの上にマウスを置くと、ボタンの機能説明が表示されます。

コール制御ボタンの一覧については、[表 2](#) を参照してください。

表2 コール制御ボタン









コール制御ボタン	機能説明
<p>オンライン接続</p>  <p>オフライン接続</p> 	<p>[オフライン接続] ボタンと連動して、Assistant Console アプリケーションの接続ステータスを切り替えます。[オンライン接続] ボタンを使用すると、Assistant Console へのオンライン接続を再開して、マネージャに代わってコールを処理できるようになります。</p> <p>[オンライン接続] ボタンと連動して、接続ステータスを切り替えます。オフライン接続を使用すると、マネージャのコールを処理できないようにした状態で、コンソールを調べることができます。</p>
<p>ダイヤル</p> 	<p>発信コールに使用できるダイヤルパッドを開きます。</p>
<p>応答</p> 	<p>着信コールに接続します。</p>
<p>終了</p> 	<p>アクティブ コールを終了します。</p>
<p>保留</p> 	<p>[保留解除] ボタンと連動して、コールの保留ステータスを切り替えます。 [保留] ボタンは、コールを保留にします。</p>

表2 コール制御ボタン (続き)

コール制御ボタン	機能説明
保留解除 	[保留] ボタンと連動して、コールの保留ステータスを切り替えます。[保留解除] ボタンは、コールの保留を解除します。
転送 	接続済みコールをポップアップ ウィンドウで入力したターゲット電話番号に直接転送します。
打診転送 	[転送] ボタンの機能と似ていますが、コールを転送する先の人物と会話ができます。
直接転送 	既存のコールを別の既存のコールに転送します。
会議 	会議参加者をコールに追加できます。
参加 	複数の既存のコールと会議通話します。最大 15 の同時コールに参加できます。

表2 コール制御ボタン（続き）

コール制御ボタン	機能説明
	<p>呼び出し中、接続済み、または保留中のコールを、もともとのコール先であるマネージャ、または別のターゲット電話番号にただちに転送します。転送先を指定するには、メニューバーから[編集]>[リダイレクト]を選択します。</p>
	<p>呼び出し中または接続済みのコールをマネージャのボイス メッセージ システムにリダイレクトします。</p>

コール制御ボタンは、状況依存ボタンです。したがって、ボタンが使用できるかどうかは、選択したコールの状態によって異なります。

コール制御ボタンで処理する対象のコールが選択（強調表示）されていることを確認してから、ボタンをクリックしてください。



ヒント

コール制御パネルで（ボタンそのものではない）ブランクの場所を右クリックすると、コンソール上のパネルの位置を再度調整することができます。

関連項目

- [コンソールの機能を使用する方法（P.12）](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法（P.27）](#)
- [キーボードショートカットの使用法（P.29）](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法（P.32）](#)

マイコール パネルの使用方法

Assistant Console によって、ユーザおよびマネージャへのコールが [マイコール] パネルに表示されます。これらのコールが、Assistant Console のツールを使用して処理できる対象です。Cisco Unified Communications Manager Assistant は、最大 33 回線をサポートしています。

各コールは関連する電話回線の下に表示されます。

各電話回線は、次のいずれかの見出しの下に表示されます。

- 自分の回線：自分の電話回線を使用して発信または受信した、現在アクティブなコールをすべて表示します。
- マネージャの回線：マネージャに代わって処理している、または処理できるアクティブなコールを表示します。
- インターコム：インターコム回線のステータスを表示します（該当する場合）。



(注) 電話機でインターコム機能を使用できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

ユーザに割り当てられたマネージャ数に応じて、[マイコール] パネルの [マネージャの回線] セクションに 1 ~ 33 本の回線が表示されます。

各マネージャ回線には、次の項目が含まれます。

- マネージャの共有回線番号、またはマネージャのプロキシ内線電話番号。プロキシ番号はマネージャの電話番号ではなく、アシスタントがマネージャのコールを処理するために使用する番号です。
- マネージャの名前。
- アクティブコール情報：アクティブコールが次の内容で表示されます。
 - コールステータス（呼び出し中、接続済み、または保留中）を示すアニメーションアイコン
 - 発信者 ID
 - コール時間を示すタイマー

ヒント

- マネージャにコールを転送する際は、（プロキシ内線番号ではなく）実際の内線番号を入力する必要があります。マネージャの実際の内線電話番号は、Assistant Console の [マイマネージャ] パネルで確認できます。
- ユーザ自身の電話回線で発信または受信するコールに対しては、[ボイスメールに転送] および [リダイレクト] は適用できません。これらの機能が適用できるのは、マネージャの回線で受信したコールだけです。

- 共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用している場合、マネージャの回線の横に二重の赤矢印が表示されているときは、マネージャまたは別のアシスタントがコールに応答したものと判断できます。

関連項目

- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12\)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27\)](#)
- [キーボードショートカットの使用法 \(P.29\)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32\)](#)

マイマネージャ パネルの使用法

Assistant Console の [マイマネージャ] パネルを使用して、各マネージャのコール アクティビティおよび機能ステータスを監視できます。また、このパネルからマネージャの機能を有効および無効にできます。



(注) アラート トーン、サイレント機能、すべて転送機能、アシスタント モニタ機能、コール フィルタ機能、およびフィルタ モード機能は、プロキシ回線モードでのみ使用できます。

表 3 は、[マイマネージャ] パネルの各カラム見出しに表示される情報を説明しています。

表 3 Assistant Console のマイマネージャ パネルに表示される情報

カラム見出し	意味
マネージャ	<p>マネージャの名前を表示します。マネージャに関する情報ですべての列が薄い灰色で表示されている場合、そのマネージャはアシスタントが代わりにコールを処理することを求めています。また、マネージャ アイコンの横に次の 2 つのアイコンが表示される場合もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> マネージャ アイコンの横に 2 つの緑矢印がある場合、対応するマネージャはアシスタントが代わりにコールを処理することを求めています。 マネージャ アイコンの横に封筒アイコンがある場合は、対応するマネージャにボイス メッセージが到着しています。

表3 Assistant Console のマイマネージャ パネルに表示される情報 (続き)




カラム見出し	意味
インターコム	<p>このカラムをクリックすると、マネージャにインターコム コールが発信されます。</p> <p> (注) 電話機でインターコム機能を使用できない場合は、システム管理者に問い合せてください。</p>
サイレント	<p>このボックスをオンにすると、サイレント機能が有効になります。[サイレント] のオンとオフを切り替えるには、[サイレント] のセルをクリックします。サイレント機能はマネージャの電話機にある呼出音を無効にしますが、コールのリダイレクトは行いません。</p> <p> (注) 電話機でサイレント機能を使用できない場合は、システム管理者に問い合せてください。</p>
すべて転送	<p>(プロキシ回線モードのみ) このボックスをオンにすると、すべて転送機能が有効になります。すべて転送機能のオンとオフを切り替えるには、[すべて転送] のセルをクリックします。すべて転送機能は、すべての着信コールをマネージャの転送先に自動的にリダイレクトします。</p>
アシスタント モニタ	<p>(プロキシ回線モードのみ) チェックマークは、マネージャが [アシスタントモニタ] を有効にしていることを示します。この機能によって、マネージャはアシスタントが代わりに処理しているコールの発信者 ID と時間を確認できます。</p>
アラート トーン	<p>(プロキシ回線モードのみ) チェックマークは、マネージャへのコールが着信すると、マネージャの電話機でオーディオ アラートが生成されることを示します。</p>
コール フィルタ	<p>(プロキシ回線モードのみ) このボックスをオンにすると、コール フィルタがアクティブになります。フィルタのオンとオフを切り替えるには、フィルタのセルをクリックします。オンの状態では、発信者 ID およびフィルタ モードに基づいて、アシスタントまたは対応するマネージャにコールをルーティングできます。</p>

表3 Assistant Console のマイマネージャ パネルに表示される情報 (続き)

カラム見出し	意味
フィルタモード	<p>(プロキシ回線モードのみ) 2 つのフィルタ モードがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 包含 : 包含フィルタにある番号と一致するコールが「マネージャ」に送信され、残りのコールはアシスタントにリダイレクトされます。 • 排除 : 排除フィルタにある番号と一致するコールが「アシスタント」にリダイレクトされ、残りのコールはマネージャに送信されます。 <p>マネージャにフィルタを設定するには、[マネージャの設定] ウィンドウを使用します。このウィンドウを開くには、[マイマネージャ] パネルにあるマネージャの列で任意の場所を右クリックし、[設定] を選択します。</p> <p> (注) 初期のデフォルト フィルタ設定では、包含フィルタが有効であり、すべてのマネージャ コールがアシスタントに送信されるようになっています。</p>
コール詳細	<p>コール詳細は、マネージャの回線番号、コール時間、および発信者 ID で構成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 回線番号 : マネージャのプライマリ電話回線における実際の内線番号。電話アイコンは回線の状態を示します。 • コール時間 : マネージャが発信または受信したアクティブ コールのリアルタイム期間。コールを開始 (発信) または受信 (着信) するとただちにタイマーが起動します。コールがドロップまたは転送されると、タイマーが停止します。 • 発信者 ID : マネージャがコールを発信した人物、またはマネージャがコールを受信した人物の名前 (使用できる場合) と番号。転送されたコール情報は、情報を使用できる場合に表示されます。

 ヒント

コンソールの [マイマネージャ] パネルに表示されたコールは監視は可能ですが、処理することはできません。これらのコールは、すでにマネージャへリダイレクトしたコールか、あるいはマネージャが直接発信または受信したコールです。

関連項目

- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12 \)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27 \)](#)

- キーボードショートカットの使用方法 (P.29)
- Assistant Console を使用したコールの処理方法 (P.32)
- マネージャ機能の設定方法 (P.80)

短縮ダイヤル機能の使用方法

短縮ダイヤル機能によって、Assistant Console に個人用の電話帳を設定できます。短縮ダイヤル番号を使用して、コールの発信やその他のコール処理作業を実行できます。

短縮ダイヤル メニューを開いて使用可能なコマンド リストを表示するには、[短縮ダイヤル] パネルを右クリックするか、またはメニューバーから [編集] > [短縮ダイヤル] を選択します。一部の短縮ダイヤル コマンドが薄い灰色で表示されている場合は、メニューを開く前に短縮ダイヤル リストを選択してください。

短縮ダイヤル メニューを使用して、短縮ダイヤル グループの作成と修正、コールの発信、転送先の指定、コールへの会議参加者の追加ができます。

短縮ダイヤル番号にすばやくアクセスするため、短縮ダイヤル グループへのエントリを整理することを検討します。たとえば、ユーザ自身の個人グループとマネージャごとのグループを作成します。

新しい短縮ダイヤル リストを追加する場合、リストは作成した順序で表示されます。短縮ダイヤル リストにあるすべての項目をソートするには、カラム見出し (名前、電話番号、または説明) をクリックします。リストは、選択した見出しに応じてアルファベット順または数字順でソートされます。見出しをもう一度クリックすると、昇順と降順を切り替えられます。

短縮ダイヤル リストを使用してコールを発信するには、次のいずれかの方法を実行します。

- 短縮ダイヤル エントリをユーザの回線またはマネージャの回線にドラッグする。
- ユーザの回線上でコールを発信する場合は、ユーザの回線を強調表示し、短縮ダイヤル エントリをダブルクリックする。マネージャの回線上でコールを発信する場合は、マネージャの回線を強調表示し、短縮ダイヤル エントリをダブルクリックします。
- ユーザのコール制御パネル上のダイヤル ボタンに短縮ダイヤル エントリをドラッグし、[OK] をクリックする。

短縮ダイヤル リストを (短縮ダイヤル メニューを開かずに) すばやく使用する方法がいくつかあります。

- 短縮ダイヤル リストの人物にブラインド転送を行うには、アクティブ コールをその人物の短縮ダイヤル リストにドラッグ アンド ドロップします。
- 新しい短縮ダイヤル リストを追加するには、リストを [ディレクトリ] パネルから [短縮ダイヤル] パネルにドラッグ アンド ドロップします。



ヒント

サンプルの短縮ダイヤル グループと短縮ダイヤル リスト例は、非アクティブです。これらは短縮ダイヤル情報がコンソールに表示される様子を説明するために入っています。サンプルは必要に応じて削除できます。

関連項目

- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12\)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27\)](#)
- [キーボードショートカットの使用方法 \(P.29\)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32\)](#)

ディレクトリの使用方法

ディレクトリを使用して同僚を検索し、その検索結果からコールの発信および処理ができます。

同僚を検索するには、検索フィールドにその人物の姓または名、あるいはその両方の一部を入力して [**検索**] をクリックします。

ディレクトリによって、検索文字列に一致するすべてのユーザがリストで表示されます。検索結果は、名、姓、電話番号、および部門によってソートされます。

検索結果と検索フィールドをクリアするには、[**クリア**] ボタンをクリックします。

検索結果を利用する方法がいくつかあります。

- 人物の名前または番号をダブルクリックしてコールを発信します。
- 人物の名前を右クリックして、関係のあるコマンドを含んだポップアップメニューを表示します。
- ディレクトリ内の人物に対してブラインド転送を行うには、アクティブ コールを該当する名前または番号にドラッグアンドドロップします。
- 新しい短縮ダイヤル リストを追加するには、リストを [**ディレクトリ**] パネルから [**短縮ダイヤル**] パネルにドラッグアンドドロップします。

関連項目

- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12\)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27\)](#)
- [キーボードショートカットの使用方法 \(P.29\)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32\)](#)

ステータスバーの使用方法

ステータスバーは Assistant Console の下部にあり、ここには次のシステム情報が表示されます。

- 接続しました / 接続されていません : Cisco Unified Communications Manager Assistant サーバへの接続状況を示します。
- オンライン / オフライン : マネージャへのサポートが可能かどうか、アシスタントの状況を示します。
- コール制御は使用可能です / コール制御は停止しています : コール処理機能が使用できるかどうかを示します。
- フィルタ使用不可 : コールフィルタリング機能が使用できるかどうかを示します。

また、着信コールを受信したときに、コンソールがデスクトップの最前面に自動表示される設定になっているかどうかを示すポップアップ表示アイコンも、ステータスバーに表示されます。この機能のオンとオフを切り替えるには、ポップアップ表示アイコンをクリックします (デフォルトではこの機能は無効に設定されています)。この機能が有効な場合、アイコンは濃く (押された状態で) 表示されます。

さらに、ポップアップ表示は [編集] > [初期設定] メニューから有効または無効に設定できます。

関連項目

- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12\)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27\)](#)
- [キーボードショートカットの使用方法 \(P.29\)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32\)](#)

コンソール レイアウトの調整

Assistant Console にあるパネルの大きさおよび位置は、カスタマイズできます。[表示] メニューを使用して、カラー スキームおよびフォントの変更と、デフォルトのウィンドウ レイアウトへのリフレッシュを行います。



ヒント

着信コールを受信すると、デスクトップにコンソールが自動表示されるように設定できます。この「ポップアップ表示」機能を有効にするには、メインメニューから [編集] > [初期設定] を選択して、[新規に受信したコールのウィンドウをアクティブにする] チェックボックスをオンにします。コンソール画面下のステータスバーに、ポップアップ表示アイコンが表示されます。この機能が有効な場合、アイコンは濃く (押された状態で) 表示されます。

関連項目

- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12\)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27\)](#)
- [キーボードショートカットの使用法 \(P.29\)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32\)](#)

管理用設定の表示

管理用設定は、[ログイン] ダイアログボックスで表示できます。またはメニューバーから [編集] > [設定] を選択して表示できます。



(注) システム管理者に指示されない限り、管理用設定を変更する必要はありません。

次の 2 種類の設定があります。

- 基本設定
 - Cisco Unified Communications Manager Assistant サーバのホスト名または IP アドレス
 - Cisco Unified Communications Manager Assistant サーバのポート
 - 詳細設定
 - トレースの有効 / 無効
- [詳細設定] タブでは、トレース ファイルの保存場所が表示されます。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.10\)](#)
- [キーボードショートカットの使用法 \(P.29\)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32\)](#)
- [マネージャ機能の設定方法 \(P.80\)](#)

初期設定の設定

初期設定メニューでは、次の2つの設定を有効にできます。

- 着信コールの受信時にコンソールがデスクトップに自動表示される設定：コンソールの「ポップアップ表示」機能を有効にするには、メインメニューから[編集]>[初期設定]を選択して、[新規に受信したコールのウィンドウをアクティブにする]チェックボックスをオンにします。コンソール画面下のステータスバーに、ポップアップ表示アイコンが表示されます。この機能が有効な場合、アイコンは濃い網掛け表示になります。
- コンピュータの起動時に Assistant Console アプリケーションを自動的に起動する設定：自動起動機能を有効にするには、メインメニューから[編集]>[初期設定]を選択して、[コンピュータの起動時にコンソールを自動的に開始する]チェックボックスをオンにします。次回コンピュータが起動すると、Assistant Console は自動的に起動します。

各機能を無効にするには、対応するチェックボックスをオフにします。

マウスとキーボードを使用したコンソールの使用方法

Assistant Console では、マウスとキーボードによるいくつかの組み合わせによって指定の操作を実行できます。

次の操作ができます。

- コンソールアイテムのクリック、右クリック、およびダブルクリック
- コンソールアイテムのドラッグアンドドロップ
- キーボードショートカットの使用

たとえば、コールに応答するには次の方法の中から選択できます。

- [応答] コール制御ボタンをクリック
- [マイコール] パネルでコールをダブルクリック
- [マイコール] パネルでコールを右クリックしてから、表示されるポップアップメニューで[応答]を選択
- キーボードショートカットを使用

一部の操作は、コンソールアイテムをドラッグアンドドロップして完了できます。たとえば、短縮ダイヤルリストを追加するには、選択したコールを[マイコール]パネルから[短縮ダイヤル]パネルにドラッグアンドドロップできます。



ヒント

「Assistant Console を使用したコールの処理方法」では、コールの転送など、特定の操作を実行するオプションのすべてがわかります。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.10 \)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27 \)](#)
- [キーボード ショートカットの使用法 \(P.29 \)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32 \)](#)

コンソールからインターコム機能を使用する方法

インターコム機能は、システム管理者が設定するオプション機能です。この機能を使用すると、インターコム回線でマネージャと会話ができます。



(注) 電話機でインターコム機能を使用できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

Cisco Unified IP Phone 7941G、7941G-GE、7961G、7961G-GE、7970G、および 7971G-GE

インターコム コールを発信するには、[マイコール] パネルでマネージャの名前をダブルクリックします。また、[マイマネージャ] パネルで該当するインターコム アイコンをシングルクリックすることもできます。

マネージャを指定しないでインターコム コールを開始した場合は、マネージャ リストの先頭にあるマネージャがコールのターゲットとして選択されます。



(注) アシスタントがインターコム コールを介して接続するマネージャは、短縮ダイヤル ボタンのターゲットとなります。

アシスタント側でインターコム コールを開始したときにマネージャが他のコールに出していない場合は、両者のスピーカフォンが同時にオープンします。これで、電話機のスピーカフォン、ヘッドセット、または受話器を使用して会話ができます。

アシスタント側でインターコム コールを開始したときにマネージャが他のコールに出ている場合は、インターコム コールがマネージャの電話機で鳴るので手動で応答する必要があります。また、他のコールに出ているユーザにマネージャがインターコム コールを発信する場合も、手動で応答する必要があります。

インターコム コールを終了するには、もう一度、インターコム アイコンをクリックします。

Cisco Unified IP Phone 7940G および 7960G

インターコム コールを発信するには、[マイコール] パネルでマネージャの名前をダブルクリックします。また、[マイマネージャ] パネルで該当するインターコム アイコンをシングルクリックすることもできます。

アシスタント側でインターコム コールを開始したときにマネージャが他のコールに出ていない場合は、両者のスピーカフォンが同時にオープンします。これで、電話機のスピーカフォン、ヘッドセット、または受話器を使用して会話ができます。

アシスタント側でインターコム コールを開始したときにマネージャが他のコールに出ている場合は、インターコム コールがマネージャの電話機で鳴るので手動で応答する必要があります。また、他のコールに出ているユーザにマネージャがインターコム コールを発信する場合も、手動で応答する必要があります。

インターコム コールを終了するには、もう一度、インターコム アイコンをクリックします。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.10\)](#)
- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12\)](#)
- [キーボード ショートカットの使用法 \(P.29\)](#)
- [アシスタント側：電話機での Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用法 \(P.42\)](#)

キーボードショートカットの使用方法

マウスではなく、キーボードショートカットを使用して Assistant Console のほとんどのツールおよび機能を操作できます。キーボードショートカットによって、より効率的にコールを処理できます。

初期のデフォルトショートカットを使用するか、またはニーズに合うようにショートカットをカスタマイズできます。カスタマイズされたショートカットは、Cisco Unified Communications Manager Assistant でユーザが次回ログインする際も記憶されています。

ショートカットの表示

メニューバーの項目をクリックすると、コマンドとショートカットが表示されます。キーボードショートカットは、ほとんどのメニューコマンドに関連付けられています。

さらに、[ショートカットキーの編集]ポップアップウィンドウでショートカットを確認できます。[編集]>[キーボードのショートカット]を選択してこのウィンドウを開き、リストからメニューコマンドを選択して関連付けられたショートカットを確認します。

たとえば、[ショートカットキーの編集]ウィンドウで[コール]>[応答]を選択すると、初期のデフォルトショートカットでは Ctrl キーと A キーの組み合わせ (Ctrl+A) が使用されていることがわかります。

キーボードショートカットのカスタマイズ

キーボードショートカットをカスタマイズするには、メニューバーから[編集]>[キーボードのショートカット]を選択します。リストからメニューコマンドを選択し、CTRL、SHIFT、または ALT をクリックしてショートカットの前半部分を割り当てます。次に [キー] フィールドに文字または数字を入力して、ショートカットの後半部分を割り当てます。[保存] をクリックして、選択したコマンドに新しいキーボードショートカットを割り当てます。

ショートカットの使用方法

ショートカットを呼び出すには、ショートカット組み合わせの最初のキーを押した状態で、2番目のキーを押します。たとえば、コールを保留にするため Ctrl+L ショートカットを使用する場合は、Ctrl キーを押した状態で L キーを押します。



(注) キーボードショートカットが機能するためには、デスクトップで Assistant Console ページをアクティブにしておく必要があります。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップガイド \(P.10\)](#)
- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12\)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27\)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32\)](#)

アシスタントおよびマネージャによる Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用方法

アシスタントは、自分の電話機から Cisco Unified Communications Manager Assistant 機能を使用し、Assistant Console を使用してマネージャへのコールを処理します。たとえば、マネージャへのコールに応答する場合、Assistant Console 上のインターコム回線をダブルクリックすると、マネージャに打診できます。マネージャがコールを取得することになった場合、コールを転送するには、Assistant Console 上の [リダイレクト] コール ボタンを選択するか、電話機の [リダイレクト] ソフトキーを選択します。発信者にボイス メッセージを残してもらうようマネージャから求められた場合、コールをマネージャのボイス メッセージ システムに転送するには、[ボイスメールに転送] コール ボタンを選択するか、[VM 転送] ソフトキーを選択します。

マネージャは、主に Cisco Unified IP Phone から Cisco Unified Communications Manager Assistant 機能を使用することになります。たとえば、マネージャに不動産業者からコールが着信する予定になっているとします。マネージャがアシスタント モニタを有効にして、着信コールを監視します。不動産業者の番号が表示された場合、マネージャは [キャッチ] ソフトキーを押して、コールを割り込んで受信することができます。また、マネージャによる Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用例として、電話機の [リダイレクト] ソフトキーを押して、呼び出し中のコールをアシスタントに転送する場合も挙げられます。マネージャは、電話機の LCD スクリーン上の Cisco Unified Communications Manager Assistant ステータス ウィンドウを参照することで、転送したコールにアシスタントが応答したことを確認し、コールの時間を監視することができます。



ヒント

アシスタントまたはマネージャは、[マネージャの設定] ウィンドウでマネージャの機能をカスタマイズできます。このウィンドウを開くには、メニューバーから [マネージャ] > [設定] を選択するか、または [マイマネージャ] パネルにあるマネージャの列で任意の場所を右クリックして [設定] を選択します。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップガイド \(P.10\)](#)
- [コンソールの機能を使用する方法 \(P.12\)](#)
- [コンソールからインターコム機能を使用する方法 \(P.27\)](#)
- [キーボード ショートカットの使用法 \(P.29\)](#)
- [マネージャ側：共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用法 \(P.56\)](#)
- [マネージャ側：プロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用法 \(P.62\)](#)
- [マネージャ機能の設定方法 \(P.80\)](#)

Assistant Console を使用したコールの処理方法

コールは、マウスとキーボードを使用して発信、応答、転送、終了することができ、それ以外の作業については Assistant Console から処理できます。



(注) 処理対象のコールがコンソール上で選択（強調表示）されていることを確認してください。コール制御ボタンおよびメニュー項目は、選択したコールに関係しない場合、薄い灰色で表示されます（非アクティブ）。

詳細については、次のコール処理に関するトピックを参照してください。

- [コールの発信方法 \(P.33\)](#)
- [コールへの応答方法 \(P.34\)](#)
- [コールの終了方法 \(P.34\)](#)
- [コールの保留方法 \(P.35\)](#)
- [コールの転送方法 \(P.36\)](#)
- [電話会議の設定方法 \(P.38\)](#)
- [別の番号にコールを即時転送する方法 \(P.39\)](#)
- [ボイス メッセージ サービスへのコール送信方法 \(P.41\)](#)

コールの発信方法

Assistant Console からコールを発信するには、次のいずれかの方法を選択します。

- [**ダイヤル**] コール制御ボタンをクリックします。
- [**マイコール**] パネルで電話回線を右クリックして、表示されるポップアップメニューで [**ダイヤル**] を選択します。
- メニューバーから [**コール**] > [**ダイヤル**] を選択します。
- 短縮ダイヤルまたは電話番号をダブルクリックします。
- [**マイコール**] パネルに電話番号をドラッグアンドドロップします。
- 関連するキーボードショートカットを使用します。
- コンソールがデスクトップに表示されアクティブな状態で、キーボードを使用してコール先の電話番号を入力し、**Enter** キーを押します。コンソール下部のステータスバーで、コール中の番号を確認できます。

[番号を入力してください] ポップアップ ウィンドウが表示されたら、コール先の電話番号を入力して [**OK**] をクリックします。

Cisco Unified IP Phone からコールを発信する場合とまったく同じように番号を入力します。

Assistant Console から発信されたコールは、アシスタントの電話機の最初の物理的な回線を使用します。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.10 \)](#)
- [キーボード ショートカットの使用方法 \(P.29 \)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32 \)](#)

コールへの応答方法

選択したコールに応答するには、次のいずれかの方法を選択します。

- [応答] コール制御ボタンをクリックします。
- [マイコール] パネルで呼び出し中のコールをダブルクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップメニューで [応答] を選択します。
- メニューバーから [コール] > [応答] を選択します。
- 関連するキーボードショートカットを使用します。

応答対象の着信コールが選択（強調表示）されていない場合は、着信コールをクリックして選択してから、説明したアクションのいずれかを実行してください。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.10 \)](#)
- [キーボード ショートカットの使用法 \(P.29 \)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32 \)](#)

コールの終了方法

選択したコールを終了するには、次のいずれかの方法を選択します。

- [終了] コール制御ボタンをクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップメニューで [終了] を選択します。
- メニューバーから [コール] > [終了] を選択します。
- 関連するキーボードショートカットを使用します。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.10 \)](#)
- [キーボード ショートカットの使用法 \(P.29 \)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32 \)](#)

コールの保留方法

選択したコールを保留にするには、次のいずれかの方法を選択します。

- **[保留]** コール制御ボタンをクリックします。
- 接続済みのコールをダブルクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップメニューで **[保留]** を選択します。
- メニューバーから **[コール] > [保留]** を選択します。
- 関連するキーボードショートカットを使用します。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.10 \)](#)
- [キーボード ショートカットの使用方法 \(P.29 \)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32 \)](#)

コールの保留解除方法

選択したコールの保留を解除するには、次のいずれかの方法を選択します。

- **[保留解除]** コール制御ボタンをクリックします。
- 保留中のコールをダブルクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップメニューで **[保留解除]** を選択します。
- メニューバーから **[コール] > [保留解除]** の順に選択します。
- 関連するキーボードショートカットを使用します。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.10 \)](#)
- [キーボード ショートカットの使用方法 \(P.29 \)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32 \)](#)

コールの転送方法

コールを転送するには、次の3つの方法があります。

- 転送：転送受信者（コールを転送している相手先）と会話できない状態でコールをただちにリダイレクトします。
- 打診転送：転送受信者とまず会話ができる状態になってから、コールをリダイレクトします。
- 直接転送：2つのコール（アクティブなコールと保留中のコール）を直接接続します。



(注) ユーザは転送する前にコールに応答する必要があります。コールを転送した後で、そのコールを受信することはできません（ただしコールが返送される場合を除きます）。

転送

選択したコールで転送を実行するには、次のいずれかの方法を選択します。

- [転送] コール制御ボタンをクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップメニューで [転送] を選択します。
- メニューバーから [コール] > [転送] を選択します。
- [短縮ダイヤル] パネルのリストにコールをドラッグします。
- [ディレクトリ] パネルのリストにコールをドラッグします。
- 関連するキーボードショートカットを使用します。

[短縮ダイヤル] パネルまたは [ディレクトリ] パネルのリストにコールをドラッグする場合を除き、[番号を入力してください] ポップアップメニューが表示されます。転送先受信者の電話番号を入力して [OK] をクリックします。

打診転送

選択したコールで打診転送を実行するには、次のいずれかの方法を選択します。

- [打診転送] コール制御ボタンをクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップメニューで [打診転送] を選択します。
- メニューバーから [コール] > [打診転送] の順に選択します。
- [短縮ダイヤル] パネルまたは [ディレクトリ] パネルでコール転送先のリストを右クリックし、ポップアップメニューから [打診転送] を選択します。
- 関連するキーボードショートカットを使用します。

[番号を入力してください] ポップアップ ウィンドウが表示されたら、転送受信者の電話番号を入力して [OK] をクリックします。

受信者と会話した後、転送を完了するためにもう一度 [打診転送] ボタンをクリックします。



(注) 打診転送は、電話機が呼び出し中の状態、またはドラッグ アンド ドロップ方式を使用する方法では実行できません。打診転送を実行するには、受信者と会話する必要があります。

直接転送

一対のコールで直接転送を実行するには、2 つのコールを強調表示してから、次のいずれかの方法を選択します。

- [直接転送] コール制御ボタンをクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップ メニューで [直接転送] を選択します。
- メニューバーから [コール] > [直接転送] を選択します。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.10 \)](#)
- [キーボード ショートカットの使用方法 \(P.29 \)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32 \)](#)

電話会議の設定方法

電話会議を設定するには、次の2つの方法があります。

- 会議：コールを初期化して、会議に参加者を追加します。
- 参加：アクティブなコールと保留中のコールを1つの電話会議に接続します。

会議参加者を選択したアクティブなコールに追加するには、次のいずれかの方法を選択します。

- [**会議**] コール制御ボタンをクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップメニューで [**会議**] を選択します。
- メニューバーから [**コール**] > [**会議**] を選択します。
- [**短縮ダイヤル**] パネルまたは [**ディレクトリ**] パネルのリストを右クリックして、表示されるポップアップメニューで [**会議**] を選択します。
- 関連するキーボードショートカットを使用します。

[番号を入力してください] ポップアップウィンドウが表示されたら、会議参加者の電話番号を入力して [**OK**] をクリックします。

新しい会議参加者と会話してからもう一度 [**会議**] ボタンをクリックし、その人物をコールに追加します。

参加を使用して電話会議を設定するには、会議に追加するコールを強調表示してから、次のいずれかの方法を選択します。

- [**参加**] コール制御ボタンをクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップメニューで [**参加**] を選択します。
- メニューバーから [**コール**] > [**参加**] を選択します。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップガイド \(P.10\)](#)
- [キーボードショートカットの使用方法 \(P.29\)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32\)](#)

別の番号にコールを即時転送する方法

リダイレクトを使用すると、選択したコールを事前に設定した転送先番号に転送できます。呼び出し中、接続済み、または保留中のコールをリダイレクトできます。

プロキシ回線モードでは、初期のデフォルト転送先は、もともとのコール先であるマネージャです。共有回線モードには、デフォルト転送先はありません。ただし転送先は、有効な電話番号または内線番号を使用して設定できます。

詳細については、次の項を参照してください。

- [リダイレクトの使用方法 \(P.39\)](#)
- [転送先の設定方法 \(P.40\)](#)

リダイレクトの使用方法

選択したコールを転送先にリダイレクトするには、次のいずれかの方法を選択します。

- [**リダイレクト**] コール制御ボタンをクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップメニューで [**リダイレクト**] を選択します。
- メニューバーから [**コール**] > [**リダイレクト**] を選択します。
- 関連するキーボードショートカットを使用します。

ヒント

- 使用するたびに転送先の指定が必要な [**転送**] とは異なり、[**リダイレクト**] は事前に設定した 1 か所の転送先番号にコールを送信します。
- 呼び出し中、接続済み、または保留中のコールを転送できます。
- (マネージャのプロキシ回線でなく) ユーザ自身の電話回線の 1 つで発信または受信したコールは、転送できません。

関連項目

- [転送先の設定方法 \(P.40\)](#)

転送先の設定方法

転送先を、もともとのコール先であるマネージャ、または別の電話番号に設定できます。

転送先を表示または変更するには、メニューバーから **[編集]** > **[リダイレクト]** を選択します。[転送先] ポップアップウィンドウが表示されます。

共有回線モードでは、電話番号またはオフィスの内線番号をテキストボックスに入力します。オフィスの電話からダイヤルする場合とまったく同じように番号を入力します。

プロキシ回線モードでは、転送先としてマネージャと電話番号を切り替えるようにできます。[電話番号] オプションを選択した場合は、電話番号またはオフィスの内線番号を入力します。オフィスの電話からダイヤルする場合とまったく同じように番号を入力します。

[保存] をクリックして変更を保存します。

ヒント

- ユーザ自身の転送先の設定に加えて、マネージャ用の設定もできます。マネージャの即時転送先は、ユーザの転送先とは異なります。説明については、[P.84 の「マネージャの転送先設定方法」](#)を参照してください。
- コールは Cisco Unified IP Phone を使用して転送できます。コールに応答してから Cisco Unified IP Phone の **[リダイレクト]** ソフトキーを押すと、コールを転送先に転送できます。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップガイド \(P.10\)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32\)](#)
- [リダイレクトの使用方法 \(P.39\)](#)
- [アシスタント側：電話機での Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用方法 \(P.42\)](#)
- [マネージャ機能の設定方法 \(P.80\)](#)

ボイス メッセージ サービスへのコール送信方法

ユーザがマネージャに代わって処理している呼び出し中または接続済みのコールを、そのマネージャのボイス メッセージ サービスに転送できます。

選択したコールをボイス メッセージ サービスに送信するには、次のいずれかの方法を選択します。

- **[ボイスメールに転送]** コール制御ボタンをクリックします。
- コールを右クリックし、表示されるポップアップ メニューで **[ボイスメールに転送]** を選択します。
- メニューバーから **[コール] > [ボイスメールに転送]** を選択します。
- 関連するキーボードショートカットを使用します。

ヒント

- この作業は Cisco Unified IP Phone から実行できます。コールに回答してから Cisco Unified IP Phone の **[VM 転送]** ソフトキーを押すと、マネージャのコールをそのボイス メッセージ サービスに転送できます。
- この機能は、ユーザ自身の電話回線で発信または受信したコールには適用されません。この機能が適用できるのは、マネージャのプロキシ回線上のコールだけです。

関連項目

- [Assistant Console スタートアップ ガイド \(P.10 \)](#)
- [キーボード ショートカットの使用方法 \(P.29 \)](#)
- [Assistant Console を使用したコールの処理方法 \(P.32 \)](#)
- [アシスタント側：電話機での Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用方法 \(P.42 \)](#)

アシスタント側：電話機での Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用方法

Cisco Unified IP Phone の Cisco Unified Communications Manager Assistant の一部の機能に直接アクセスできます。呼出音の選択を除いて、これらの機能は Assistant Console アプリケーションでも使用できます。

Cisco Unified Communications Manager Assistant では、アシスタントが Cisco Unified Communications Manager Assistant Console アプリケーションで実行できる操作のほとんどを、物理的な電話機のボタンとソフトキーを使用して実行することができます。

アシスタントの電話機の Cisco Unified Communications Manager Assistant 機能は、Assistant Console アプリケーションと同時に使用できます。

アシスタントの電話機の Cisco Unified Communications Manager Assistant は、次の電話機でサポートされています。

- Cisco Unified IP Phone 7971G-GE
- Cisco Unified IP Phone 7970G
- Cisco Unified IP Phone 7961G
- Cisco Unified IP Phone 7961G-GE
- Cisco Unified IP Phone 7960G
- Cisco Unified IP Phone 7941G
- Cisco Unified IP Phone 7941G-GE
- Cisco Unified IP Phone 7940G



(注) アシスタントの電話機の Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用する場合は、アシスタントがサポートするマネージャを最大 5 人にすることを強くお勧めします。

**(注)**

優先アシスタントの設定は、マネージャ（Web URL を使用）またはアシスタント（Assistant Console アプリケーションを使用）のどちらでも実行できますが、電話機そのものでは実行できません。

この項では、次のトピックについて説明します。

- [プロキシ回線モードと共有回線モード \(P.44\)](#): Cisco Unified Communications Manager Assistant が動作する 2 つのモードについて説明します。
- [アシスタントの電話機の Manager Assistant へのログイン \(P.45\)](#): 電話機でのログイン プロセスについて説明します。
- [マネージャのステータスの確認 \(P.46\)](#): アシスタントがサポートする各マネージャのステータスの情報について説明します。
- [コールの処理とその他のアクションの実行 \(P.48\)](#): コールの応答、転送、即時転送、およびアシスタントが実行できるその他のアクションについて説明します。
- [電話機で Manager Assistant を使用してコールに応答する方法 \(P.49\)](#): アシスタントがコールへの応答に使用できる 3 つの方法について説明します。
- [マネージャの設定 \(P.50\)](#): サポート対象のマネージャに対してアシスタントが制御できる各種の設定について説明します。
- [アシスタントの設定 \(P.52\)](#): 転送先やマネージャ ステータスのソートなど、アシスタント関連のオプションの設定方法について説明します。
- [呼出音のカスタマイズ方法 \(P.55\)](#): 各電話回線の呼出音タイプを関連付ける手順について説明します。

プロキシ回線モードと共有回線モード

Cisco Unified Communications Manager Assistant アプリケーションを使用すると、アシスタントはマネージャへのコールをより効率的に処理できます。Cisco Unified Communications Manager Assistant は、共有回線モードとプロキシ回線モードの 2 つのモードで動作します。このモードは、システム管理者が設定します。

共有回線モード

共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するアシスタントには、マネージャと同じ電話番号が割り当てられます。この共有番号を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。

プロキシ回線モード

ユーザがプロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するアシスタントの場合、マネージャには電話番号が割り当てられ、ユーザにはプロキシとして使用する代行電話番号が割り当てられます。このプロキシ番号を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。

モードの識別

最初に、システム管理者が選択したモードを識別する必要があります。マネージャ設定画面を確認します。

- 共有回線モードでは、この画面には [サイレント] オプションだけが表示されます。
- プロキシ回線モードでは、この画面には複数のオプションが表示されます。

アシスタントの電話機の Manager Assistant へのログイン

アシスタントの電話機の Cisco Unified Communications Manager Assistant にログインするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 電話機の [サービス] ボタンを押します。

ステップ 2 [Primary IPMA Phone Service] を選択します。

ステップ 3 ユーザ ID と PIN を入力してから、[送信] を押します。

[マネージャ ステータス] 画面が表示されます ([図 5](#) を参照)。

図 5 [マネージャ ステータス] 画面





(注) プライマリ IPMA サービスがダウンした場合、アシスタントの電話機の画面は更新されないため、このような表示にはなりません。その状況でアシスタントがソフトキーを使用しようとすると、「Host not found Exception」というメッセージが表示されます。この場合、アシスタントは [IP Services] メニューから [**Secondary IPMA Phone Service**] を選択し、再度ログインする必要があります。

マネージャのステータスの確認

図 5 は、[マネージャ ステータス] 画面の例を示しています。この画面には、特定のアシスタントがサポートするすべてのマネージャのリストが含まれています。

この項では、画面に表示される情報と、画面上のソフトキーについて説明します。

マネージャ ステータス画面での情報表示

アシスタントがサポートするマネージャごとに、次の情報が表示されます。

- マネージャのアシスタント ステータス行：アシスタントがオンラインであるかオフラインであるかが示されます。
- リスト内のマネージャの数：リスト内のマネージャの数をすばやく特定できます。
- マネージャの名前：次の状況に基づいてこの順序でソートされます。
 - 新規コールの着信
 - オンフックからのマネージャ ステータスの変更
 - オンフック
- マネージャの名前の左にあるステータス アイコン：これらのステータス アイコンのリストと説明については、表 4 を参照してください。
- マネージャのプロキシ回線

コール ステータス アイコン

表 4 は、[マネージャ ステータス] 画面でマネージャの名前の左に表示される各種のコール ステータス アイコンとその説明を示しています。


表 4 コールステータス アイコン

マネージャのコールステータス アイコン	機能説明
話し中 	このアイコンは、マネージャの電話機が話し中の場合に、[マネージャ ステータス] 画面でマネージャの名前の横に表示されます。
保留 	マネージャがコールを保留にすると、このアイコンが[マネージャ ステータス] 画面でマネージャの名前の横に表示されます。
アイドル / オンフック 	このアイコンは、マネージャの電話機がオンフックの場合に、[マネージャ ステータス] 画面でマネージャの名前の横に表示されます。
オフフック 	このアイコンは、マネージャの電話機がオフフックの場合に、[マネージャ ステータス] 画面でマネージャの名前の横に表示されます。
呼出音 	このアイコンは、マネージャの電話機で呼出音が鳴っている場合に、[マネージャ ステータス] 画面でマネージャの名前の横に表示されます。
不明 	このアイコンは、Cisco Unified Communications Manager Assistant がマネージャの状態を特定できない場合に、[マネージャ ステータス] 画面でマネージャの名前の横に表示されます。 たとえば、CTI 障害が発生した場合や、エクステンション モビリティを使用しているマネージャがまだログインしていない場合などです。
MWI (メッセージ受信インジケータ)	「MWI」は、マネージャにボイスメールが着信している場合に、[マネージャ ステータス] 画面でマネージャの名前の横に表示されます。

コールの処理とその他のアクションの実行

表 5 は、[マネージャ ステータス] 画面に表示されるソフトキーについて説明しています。ソフトキーを使用すると、各種のコール処理タスクを実行できます。

表 5 アシスタントの電話機のソフトキー

ソフトキー	機能説明
選択	マネージャのリストでマネージャを強調表示して選択すると、マネージャ設定画面が表示されます (P.50 の図 6 を参照)。この画面では、選択したマネージャの設定を行うことができます。
応答	対応するマネージャへの着信コールに応答します。
終了	[マネージャ ステータス] 画面を終了し、[サービス] メニュー ページを表示します。
リダイレクト	呼び出し中、接続済み、または保留中のコールを、対応するマネージャ (デフォルト) または別のプリセットされている番号にただちに転送します。 転送先を特定の電話番号に設定するには、[設定] を押してから [転送先の設定] を押し、次に番号を入力します。
次へ	[マネージャ ステータス] 画面で使用できる残りのソフトキーを表示します。
VM 転送	呼び出し中、接続済み、または保留中のコールを該当するマネージャのボイスメールボックスに送信します。
インターコム	インターコム回線でマネージャと会話ができます。
オフライン	オフラインになります。マネージャに対して別のアシスタントが設定され、そのアシスタントがオンラインになっている場合は、そのアシスタントがこのマネージャのアクティブ アシスタントになります。 使用可能なアシスタントが存在しない場合、マネージャに対するコールはフィルタリングまたは転送され、各コールによってマネージャの電話機で呼出音が鳴ります。  (注) プライマリ アシスタントがオフラインになった場合やログアウトした場合、マネージャの電話ステータスとコール ステータスは、次に使用可能なアシスタントの電話機に表示され、このアシスタントがプライマリ アシスタントになります。
設定	アシスタント設定画面が表示されます。ここでは、各種の設定を行うことができます。設定できるフィールドについては、P.53 の表 7 を参照してください。

電話機で Manager Assistant を使用してコールに応答する方法

マネージャへのコールは、[マネージャ ステータス] ページに表示されます。コールに応答する方法には、次の 3 つがあります。

- [マネージャ ステータス] ページの [応答] ソフトキーを押す。
- 呼び出し中のコールの回線ボタンまたはスピーカ ボタンを選択する。
- Cisco Unified Communications Manager Assistant 画面を終了し、コール処理画面の [応答] ボタンを選択する。コール処理画面は、Cisco Unified Communications Manager Assistant 画面の終了後に表示される画面です。コール処理画面には、コールの発信元の番号と、[応答] [リダイレクト] および [VM 転送] ソフトキーが表示されます。



(注) これらの方法のいずれかを使用してコールに応答すると、Cisco Unified Communications Manager Assistant 画面がコール処理画面によって上書きされます (コール処理画面がまだ表示されていない場合)。この場合でも、コール処理画面上のソフトキーの使用方法は、通常の場合と同じです。Cisco Unified Communications Manager Assistant はこれらの機能を制御しません。

マネージャの設定


図 6 は、マネージャ設定画面を示しています。この画面が表示されるのは、[マネージャ ステータス] 画面に表示されたリストからマネージャを選択したときです（図 5 を参照）。

表 6 では、この画面のフィールドの設定方法について説明します。

図 6 マネージャ設定画面



表 6 マネージャ設定フィールド

ソフトキー	機能説明
フィルタ	<p>[オン]と[オフ]を切り替えます。このフィールドの設定を変更するには、フィールドを強調表示してから[選択]を押します。このフィールドが[オン]に設定されている場合は、[フィルタモード]フィールドで設定されたフィルタルールが適用されます。</p> <p> (注) マネージャにフィルタを設定するには、Assistant Console アプリケーションを使用する必要があります。詳細については、P.85 の「マネージャのフィルタ リスト作成方法」を参照してください。</p>
フィルタモード	<p>[排除]と[包含]を切り替えます。このフィールドの設定を変更するには、フィールドを強調表示してから[選択]を押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 排除：フィルタ リスト内の電話番号と一致するコールがアシスタントに送信され、残りのコールはマネージャに送信されます。 • 包含：フィルタ リスト内の電話番号と一致するコールがマネージャに送信され、残りのコールはアシスタントに送信されます。 <p>使用可能なワイルドカード文字は、1桁に対応する X と、番号の先頭または末尾の数字列に対応する * のみです。</p>
サイレント	<p>マネージャの電話機の呼出音をオフにします。この操作は、マネージャごとに実行できます。</p>
コールの転送	<p>[オン]と[オフ]を切り替えます。このフィールドの設定を変更するには、フィールドを強調表示してから[選択]を押します。このフィールドが[オン]に設定されている場合、Cisco Unified Communications Manager Assistant は、呼び出し中、接続済み、または保留中のコールを、マネージャまたは別のプリセットされている番号([転送先の設定]フィールドを選択して指定した番号)に送信します。</p>
転送先の設定	<p>コールの転送先番号([コールの転送]フィールドが[オン]の場合)。</p> <p>デフォルト：ここで別の電話番号が設定されていない場合、コールは対応するマネージャの電話機に転送されます。</p>
アラートトーン	<p>[オン]と[オフ]を切り替えます。このフィールドの設定を変更するには、フィールドを強調表示してから[選択]を押します。プロキシ回線環境でこのフィールドが[オン]に設定されている場合、マネージャへのコールが着信すると、マネージャの電話機でオーディオアラートが生成されます。</p>

アシスタントの設定

図 7 は、アシスタント設定画面を示しています。この画面が表示されるのは、[マネージャ ステータス] 画面の [設定] ソフトキーを押したときです (図 5 を参照)。アシスタント設定画面では、転送先や [マネージャ ステータス] 画面のソートなど、各種の項目を設定できます。

表 7 では、この画面のフィールドの設定方法について説明します。

表 8 では、この画面のソフトキーの使用方法について説明します。


図 7 アシスタントの設定



表7 アシスタント設定フィールド

フィールド	機能説明
コールブレン上書き (有効/無効)	<p>[有効]と[無効]を切り替えます。このフィールドの設定を変更するには、フィールドを強調表示してから[選択]を押します。このフラグを有効にすると、コール中にリアルタイム更新が送信されます。</p> <p>この機能は、コールをマネージャに転送する前に、そのマネージャのステータスが話し中であるかアイドルであるかを確認するのに役立ちます。このフラグを有効にすると、コール中にマネージャのステータスの変更が表示されます。</p>
スマートソート (有効/無効)	<p>[有効]と[無効]を切り替えます。このフィールドの設定を変更するには、フィールドを強調表示してから[選択]を押します。このフラグが有効の場合、[マネージャステータス]画面は新規コールイベントに基づいてソートされます。</p> <p>マネージャリストのソート方法の階層については、P.46の「マネージャステータス画面での情報表示」を参照してください。</p> <p>このフラグが無効の場合、[マネージャステータス]画面は変化しません。</p>
転送先の設定	<p>特定のマネージャに対して[すべて転送]フィールドが[オン]に設定されている場合(P.50の図6を参照)、そのマネージャへの着信コールは転送先に転送されます。この転送先は、現在選択されているマネージャ(デフォルト)または電話番号のどちらかです。</p> <p>コールを電話番号に転送するには、[転送先の設定]フィールドに番号を入力します。電話番号を変更するには、[転送先の設定]フィールドを編集します。</p>

表 8 アシスタント設定ソフトキー

フィールド	機能説明
選択	<p>このボタンを押すと、この画面にある [コールプレーン上書き] と [スマートソート] という 2 つの切り替えフィールドの設定が変更されます。 [転送先の設定] フィールドを強調表示して [設定] を押すと、転送先番号を設定する画面が表示されます。</p>
更新オフ / 更新オン	<p>デフォルトでは、[マネージャ ステータス] 画面は、マネージャのステータスが変更された場合、またはマネージャへの新規コールが着信した場合にリフレッシュされます。</p> <p>[更新オフ] ボタンを押すと、この自動リフレッシュが抑制されます。</p> <p>このボタンの使用例として、サポート対象のマネージャが 33 人いる状況で、20 番目のマネージャの設定を変更する場合を考えます。</p> <p>このマネージャの設定を変更するには、[マネージャ ステータス] 画面でマネージャのリストをスクロールダウンし、20 番目の名前を強調表示してから [選択] を押します。</p> <p>ただし、この処理中に画面が更新されると、スクロールリスト内の位置がわからなくなるため、重要なステータス更新を実行しそこなう可能性があります。したがって、そのような状況でリフレッシュが行われないようにするには、[更新オフ] ボタンを押します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>(注) 自動更新を再度有効にするには、[更新オン] ボタンを押します。</p> </div>
終了	<p>アシスタント設定画面を終了し、[マネージャ ステータス] 画面に戻ります。</p>
ログアウト	<p>IPMA サービスからログアウトします。ログアウトした後は、サービスへの再ログインが必要になります。</p>

呼出音のカスタマイズ方法

呼出音の選択機能を使用して、電話回線ごとに固有の可聴呼出音タイプを関連付けられます。自分の着信コールとマネージャの着信コールをすばやく聞き分けるため、マネージャのプロキシ回線に固有の呼出音タイプを関連付けられます。

次の手順を使用して、直接電話機で呼出音をカスタマイズします。

手順

ステップ 1 Cisco Unified IP Phone の [設定] ボタンを押します。

ステップ 2 ナビゲーション ボタンを使用して [設定] メニューの [呼出音タイプ] を選択します (または電話機のキーパッドで 2 を押します)。

電話機にある各回線とその回線に選択した呼出音タイプが、電話機の LCD スクリーンに表示されます。最初は、これらすべての回線でデフォルトの呼出音タイプが使用されています。

ステップ 3 回線の呼出音タイプを変更するには、ナビゲーション ボタンを使用して回線を選択し、[選択] ソフトキーを押します。



(注) 電話機で、特定のマネージャに関連付けられているマネージャのプロキシ回線を識別するには、Assistant Console アプリケーションの [マイコール] パネルを確認します。この領域には、マネージャのプロキシ回線とマネージャの名前が表示されます (マネージャのプロキシ回線とは、そのマネージャへの着信コールをアシスタントが受信する回線です)。

ステップ 4 ナビゲーション ボタンを使用して、選択した回線に使用できる呼出音タイプのリストをスクロールします。呼出音タイプのサンプルを聞くには、呼出音タイプを選択して [再生] ソフトキーを押します。

ステップ 5 新しい呼出音タイプを関連付けるには、[選択] ソフトキーおよび [OK] ソフトキーを押します。

ステップ 6 手順 3 ~ 5 を繰り返して、選択した他の回線について呼出音タイプをカスタマイズします。

ステップ 7 [終了] ソフトキーを押して [呼出音タイプ] メニューを終了します。

マネージャ側：共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用方法

Cisco Unified Communications Manager Assistant は、電話機の機能を拡張し、マネージャとアシスタントによるコール処理をより効率的にします。システム管理者により、共有回線モードまたはプロキシ回線モードのどちらかで動作するように Cisco Unified Communications Manager Assistant 設定が選択されています。共有回線モードでは、マネージャとアシスタントには同じ電話番号が割り当てられます。アシスタントは、共有番号を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。プロキシ回線モードでは、マネージャには電話番号が割り当てられ、アシスタントにはプロキシとして使用する代行電話番号が割り当てられます。アシスタントは、プロキシ番号を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。最初に、システム管理者が選択したモードを識別する必要があります。「[Cisco Unified Communications Manager Assistant の概要](#)」を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager Assistant では、共有回線モードに設定されているマネージャは、次の機能を利用できます。

- Cisco Unified IP Phone でのコール処理の拡張機能: IP Phone の LCD スクリーンで新しいソフトキーとステータス ウィンドウを使用できる。
- インターコム機能: インターコム コールをアシスタントに発信でき、アシスタントからのインターコム コールを受信できる。
- Web ベースの機能設定: [マネージャの設定] 画面を使用して転送先をカスタマイズできる。代わりに、アシスタントが自分に代わって Assistant Console からこの機能を設定できます。

詳細については、次のトピックを参照してください。

- [マネージャの電話機でモードを識別する方法 \(P.4\)](#)
- [コールの即時転送および転送の方法 \(P.58\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.59\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.61\)](#)
- [マネージャの設定画面へのアクセス方法 \(マネージャ側\)\(P.81\)](#)

Cisco エクステンション モビリティの使用法

手順

Cisco エクステンション モビリティで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco エクステンション モビリティにログインします。

ステップ 2 サービス メニューから [Assistant Service] を選択します。

Cisco エクステンション モビリティの機能の詳細については、『*Cisco IP Phone 7960G/7940G 電話ガイド*』を参照してください。

関連項目

- [コールの即時転送および転送の方法 \(P.58\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.59\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.61\)](#)

コールの即時転送および転送の方法

マネージャ側

IP Phone の Cisco Unified Communications Manager Assistant ソフトキーを使用して、アクティブ コールの即時転送、転送、および別の処理を行うことができます。

この項では、次のトピックについて説明します。

- [着信コールを別の番号へただちにリダイレクトする方法 \(P.58\)](#)
- [ボイス メッセージ サービスへのコール転送方法 \(P.58\)](#)

着信コールを別の番号へただちにリダイレクトする方法

マネージャ側

[[リダイレクト](#)] ソフトキーを押すと、呼び出し中、接続済み、または保留中のコールをマネージャの電話機から、即時転送先として設定されている別の電話番号に転送できます。マネージャまたはアシスタントは [[マネージャの設定](#)] 画面からこの転送先を変更できます。

関連項目

- [Cisco エクステンション モビリティの使用法 \(P.57\)](#)
- [コールの即時転送および転送の方法 \(P.58\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.59\)](#)
- [マネージャの転送先設定方法 \(P.84\)](#)

ボイス メッセージ サービスへのコール転送方法

マネージャ側

[[VM 転送](#)] ソフトキーを押すと、コールをただちに電話機からボイス メッセージ サービスに送信できます。保留中のコールをボイス メッセージ サービスに転送できます。

関連項目

- [Cisco エクステンション モビリティの使用法 \(P.57\)](#)
- [コールの即時転送および転送の方法 \(P.58\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.59\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.61\)](#)

インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法

オプション機能であるインターコム機能を使用すると、インターコム回線を使用してアシスタントと会話ができます。この機能は、システム管理者によって設定されます。



(注) 電話機でインターコム機能を使用できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

Cisco Unified IP Phone 7941G、7941G-GE、7961G、7961G-GE、7970G、および 7971G-GE

Cisco Unified IP Phone でインターコム コールを発信するには、アシスタントに対応した**インターコム**短縮ダイヤルボタンを押します。現在のアクティブ アシスタントが、インターコム コールのターゲットとなります。

ログインした時点でアクティブ アシスタントが存在しない場合、インターコム コールのターゲットは存在しません。

インターコム コールを開始すると、アシスタントのスピーカフォンが自動的に応答します。これで、電話機のスピーカフォン、ヘッドセット、または受話器を使用して会話ができます。アシスタント側では、マネージャと会話するには、アシスタントの電話機のインターコム ボタンを押す必要があります。

インターコム コールを終了するには、電話を切ります（またはスピーカ ボタンかヘッドセット ボタンを押します）。

Cisco Unified IP Phone 7940G および 7960G

Cisco Unified IP Phone でインターコム コールを発信するには、アシスタントに対応した**インターコム**短縮ダイヤルボタンを押します。

マネージャ側でインターコム コールを開始したときにアシスタントが他のコールに出していない場合は、両者のスピーカフォンが同時にオープンします。これで、電話機のスピーカフォン、ヘッドセット、または受話器を使用して会話ができます。これは、アシスタント側でマネージャにインターコム コールを発信する場合も同じです。

マネージャ側でインターコム コールを開始したときにアシスタントが他のコールに出ている話し中の場合には、インターコム コールがアシスタントの電話機で鳴るので手動で応答する必要があります。また、他のコールに出ているマネージャにアシスタントがインターコム コールを発信した場合も、手動で応答する必要があります。

インターコム コールを終了するには、電話を切ります（またはスピーカ ボタンかヘッドセット ボタンを押します）。

関連項目

- [Cisco エクステンション モビリティの使用法 \(P.57\)](#)
- [コールの即時転送および転送の方法 \(P.58\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.61\)](#)

電話機での呼出音の消音方法

マネージャ側

電話機の呼出音を消音するには、[サイレント] ソフトキーを押して、サイレント機能のオン / オフを切り替えます。



(注) 電話機でサイレント機能を使用できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

この機能がオンの場合、Cisco Unified IP Phone の呼出音は使用できません。サイレント機能によって、電話機の全回線で呼出音が無効になります。



(注) インターコムは、サイレント機能の影響を受けません。

サイレント機能は、Cisco Unified IP Phone の LCD スクリーンの Cisco Unified Communications Manager Assistant ステータス ウィンドウにベルの形のアイコンで表されます。線で消されたベルのアイコンは、機能がオンで IP Phone での呼出音が無効であることを示します。マネージャの IP Phone では呼出音が鳴りませんが、アシスタントの IP Phone では鳴ります。ベルの形のアイコンは、機能がオフで呼出音が無効であることを示します。

初期のデフォルトではオフに設定されています。

関連項目

- [Cisco エクステンション モビリティの使用法 \(P.57\)](#)
- [コールの即時転送および転送の方法 \(P.58\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.59\)](#)

マネージャ側：プロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用した電話機の使用方法

Cisco Unified Communications Manager Assistant は、電話機の機能を拡張し、マネージャとアシスタントによるコール処理をより効率的にします。システム管理者により、共有回線モードまたはプロキシ回線モードのどちらかで動作するように Cisco Unified Communications Manager Assistant 設定が選択されています。共有回線モードでは、マネージャとアシスタントには同じ電話番号が割り当てられます。アシスタントは、この共有番号（回線）を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。プロキシ回線モードでは、マネージャには電話番号が割り当てられ、アシスタントにはプロキシとして使用する代行電話番号が割り当てられます。アシスタントは、プロキシ番号（回線）を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。最初に、システム管理者が選択したモードを識別する必要があります。「[Cisco Unified Communications Manager Assistant の概要](#)」を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager Assistant では、プロキシ回線モードに設定されているマネージャは、次の機能を利用できます。

- コールルーティング：カスタムフィルタリストに基づいて、宛先に自分の電話機またはアシスタントの電話機を選択した上で着信コールをリダイレクトできる。
- Cisco Unified IP Phone でのコール処理および監視の機能拡張：IP Phone の LCD スクリーンで新しいソフトキーとステータスウィンドウを使用できる。
- インターコム機能：インターコムコールをアシスタントに発信でき、アシスタントからのインターコムコールを受信できる。
- Web ベースの機能設定：[マネージャの設定] 画面を使用して転送先など、一部のマネージャ機能をカスタマイズできる。代わりに、アシスタントが自分に代わって Assistant Console からこれらの機能を設定できます。

関連項目

- [マネージャの電話機でモードを識別する方法 \(P.4\)](#)
- [スタートアップガイド \(マネージャ側\) \(P.63\)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71\)](#)
- [コールフィルタリングの使用法 \(P.74\)](#)

- インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 (P.77)
- 電話機での呼出音の消音方法 (P.79)
- マネージャの設定画面へのアクセス方法 (マネージャ側)(P.81)

スタートアップガイド (マネージャ側)

次のトピックは、Cisco Unified Communications Manager Assistant を初めて使用する場合に役立ちます。

- Cisco エクステンション モビリティの使用方法 (P.63)
- アシスタント選択の概要 (P.63)
- ステータス ウィンドウの使用方法 (P.65)
- 電話機でのマネージャ ステータス メニューの使用方法 (P.69)

Cisco エクステンション モビリティの使用方法

手順

Cisco エクステンション モビリティで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco エクステンション モビリティにログインします。

ステップ 2 サービス メニューから [Assistant Service] を選択します。

Cisco エクステンション モビリティの機能の詳細については、『Cisco IP Phone 7960G/7940G 電話ガイド』を参照してください。

アシスタント選択の概要

マネージャは、Cisco エクステンション モビリティを使用するように設定されている場合を除き、Cisco Unified Communications Manager Assistant 機能に自動的にログインされます。

コールを処理するには、アシスタントが Cisco Unified Communications Manager Assistant Console アプリケーションにログインし、オンラインになっている必要があります。アクティブ アシスタントがログアウトするかオフラインになると、Cisco Unified Communications Manager Assistant は別のアシスタントを割り当てようとします。

アクティブ アシスタントの確認

「アクティブ」アシスタントとは、現在マネージャに代わってコールを処理している人物のことです。

複数のアシスタントがいる場合には、現在どのアシスタントがアクティブなのか、確認が必要になることもあります。確認するには、電話機の [サービス] ボタンを押して [Assistant Service] を選択します。項目 3 を使用してアクティブ アシスタントを確認します。

デフォルト アシスタントの割り当て

可能な場合はいつでも、「デフォルト」アシスタントが Cisco Unified Communications Manager Assistant によって割り当てられてアクティブ アシスタントとなります。デフォルト アシスタントが割り当て不可能な場合は (オフラインまたはログアウトのため)、デフォルト アシスタントがログインするかオンラインに戻るまで、別のアシスタントが Cisco Unified Communications Manager Assistant によって割り当てられます。

マネージャ (またはアシスタント) は [マネージャの設定] 画面からデフォルト アシスタントを選択できます。詳細については、P.83 の「[マネージャへのデフォルト アシスタントの割り当て方法](#)」を参照してください。

アシスタントの変更

複数のアシスタントがいるときに、その 2 人以上がログインしてオンラインになっている場合は、アクティブ アシスタントを手動で選択して自動選択を上書きできます。

選択できるアシスタントのリストを表示するには、電話機の [マネージャ ステータス] メニューから項目 3 を選択します。複数のアシスタントが選択できる場合は、アクティブ アシスタントに別のアシスタントを選択できます。選択が終了したらメニューを終了します。

アシスタントが選択できない場合

すべてのアシスタントが選択できない場合、電話機の [マネージャ ステータス] メニューにあるアシスタントのアイコン (左端のアイコン) は線で消されて表示されます。コール処理サポートは、アシスタントの誰かがログインすると再開されます。

関連項目

- [スタートアップ ガイド \(マネージャ側 \) \(P.63 \)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71 \)](#)

- コールフィルタリングの使用法 (P.74)
- インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 (P.77)
- 電話機での呼出音の消音方法 (P.79)

ステータス ウィンドウの使用法

マネージャ側

[マネージャ ステータス] メニュー は Cisco Unified IP Phone の LCD スクリーンに表示されます。

[マネージャ ステータス] メニューには、次の 2 つの領域があります。

- アシスタント モニタ領域：ステータス ウィンドウの最上部には、アシスタントがマネージャに代わって処理しているコールの発信者 ID および経過時間が表示されます。詳細については、表 9 を参照してください。
- アシスタントおよび機能領域 (Cisco Unified IP Phone 7940G および 7960G)：ステータス ウィンドウの最も広い部分には、アクティブ アシスタントの存在を示すアイコンと、機能のオン / オフ ステータスが表示されます。詳細については、表 10 を参照してください。
- アシスタントおよび機能領域 (Cisco Unified IP Phone 7941G、7941G-GE、7961G、7961G-GE、7970G、7971G-GE)：ステータス ウィンドウの最も広い部分には、アクティブ アシスタントの存在を示すアイコンと、機能のオン / オフ ステータスが表示されます。詳細については、表 11 を参照してください。

表 9 [マネージャ ステータス] メニューのアシスタント モニタ メッセージ

メッセージ	意味
「アシスタント モニタ - オン」	アシスタント モニタはオンですが、現在、アシスタントにリダイレクトされている接続済みコールおよび着信コールはありません。
「発信元」とそれに続く発信者 ID	着信コールがアシスタントにリダイレクトされ、現在、アシスタントの電話機は呼び出し中です。この時点でマネージャはコールを割り込んで受信できます。
発信者 ID とタイマー	アシスタントが着信コールに回答しています。アシスタントがコールに回答 (または別の処理を実行) すると、タイマーが起動します。
「アシスタント モニタ - オフ」	アシスタント モニタはオフです。オンに設定するには、[モニタ] ソフトキーを押します。
「フィルタ使用不可」	この場合、コールフィルタリング機能は使用できません。

表 10 [マネージャ ステータス]メニューのアシスタントおよび機能アイコン(Cisco Unified IP Phone 7940G および 7960G)

機能	説明
アシスタントが有効 	アシスタントのアイコンは人の形をしており、ステータス ウィンドウの左側にあります。このアイコンは、アクティブ アシスタントがコールに対応する準備ができていることを示します。
アシスタントが無効 	アシスタントが無効であることを示すアイコンは、線で消された人の形をしています。このアイコンは、すべてのアシスタントが利用できないことを示します。 アクティブ アシスタントを確認するには、Cisco Unified IP Phone の [サービス] ボタンを押して、[Assistant Service] を選択します。
コール フィルタが有効 	中が網目の円は、フィルタリングが「オン」であることを示します。
コール フィルタが無効 	白抜きの円は、フィルタリングが「オフ」であることを示します。 フィルタのオンとオフを切り替えるには、[マネージャ ステータス]メニューの [フィルタ] を選択します。コール フィルタリングは、[マネージャの設定] Web ページで設定できます。
サイレントが有効 	線で消されたベルのアイコンは、機能が「オン」(呼出音が無効)であることを示します。
サイレントが無効 	ベルの形のアイコンは、機能が「オフ」(呼出音が有効)であることを示します。 サイレント機能を有効または無効にして、呼出音をオンまたはオフにするには、[サイレント] ソフトキーを押します。

表 10 [マネージャ ステータス]メニューのアシスタントおよび機能アイコン (Cisco Unified IP Phone 7940G および 7960G) (続き)



機能	説明
すべて転送が有効 	矢印が障害物で下向きに曲がっている場合は、機能が「オン」(コールはマネージャの電話機からほかへリダイレクト中)であることを示します。
すべて転送が無効 	矢印が直線の場合は、機能が「オフ」(コールはマネージャの電話機に送信中)であることを示します。 すべて転送機能を有効または無効にするには、[アシスタント]ソフトキーを押します。この機能に設定された初期のデフォルト ターゲットは、選択したアシスタントです。ターゲットは、[マネージャの設定] Web ページで変更できます。

表 11 [マネージャ ステータス]メニューのアシスタントおよび機能アイコン (Cisco Unified IP Phone 7941G、7941G-GE、7961G、7961G-GE、7970G、および 7971G-GE)



機能	説明
アシスタントが有効 	アシスタントのアイコンは人の形をしており、ステータス ウィンドウの左側にあります。このアイコンは、アクティブ アシスタントがコールに対応する準備ができていることを示します。
アシスタントが無効 	アシスタントが無効であることを示すアイコンは、線で消された人の形をしています。このアイコンは、すべてのアシスタントが利用できないことを示します。 アクティブ アシスタントを確認するには、Cisco Unified IP Phone の [サービス] ボタンを押して、[Assistant Service] を選択します。

表 11 [マネージャ ステータス]メニューのアシスタントおよび機能アイコン (Cisco Unified IP Phone 7941G、7941G-GE、7961G、7961G-GE、7970G、および 7971G-GE) (続き)

機能	説明
<p>コールフィルタが有効</p>  <p>コールフィルタが無効</p> 	<p>緑色の矢印が通過し、赤色の矢印が上向きに曲がっている窓のアイコンは、フィルタリングが「オン」であることを示します。</p> <p>緑色の矢印が通過し、赤色の矢印が上向きに曲がっている窓のアイコンが線で消されている場合は、フィルタリングが「オフ」であることを示します。</p> <p>フィルタのオンとオフを切り替えるには、[マネージャ ステータス]メニューの[フィルタ]を選択します。コールフィルタリングは、[マネージャの設定] Web ページで設定できます。</p>
<p>サイレントが有効</p>  <p>サイレントが無効</p> 	<p>線で消されたベルのアイコンは、機能が「オン」(呼出音が無効)であることを示します。</p> <p>ベルの形のアイコンは、機能が「オフ」(呼出音が有効)であることを示します。</p> <p>サイレント機能を有効または無効にして、呼出音をオンまたはオフにするには、[サイレント]ソフトキーを押します。</p>
<p>すべて転送が有効</p>  <p>すべて転送が無効</p> 	<p>矢印が障害物で下向きに曲がっている場合は、機能が「オン」(コールはマネージャの電話機からほかへリダイレクト中)であることを示します。</p> <p>障害物で下向きに曲がっている矢印が線で消されている場合は、機能が「オフ」(コールはマネージャの電話機に送信中)であることを示します。</p> <p>すべて転送機能を有効または無効にするには、[アシスタント]ソフトキーを押します。この機能に設定された初期のデフォルトターゲットは、選択したアシスタントです。ターゲットは、[マネージャの設定] Web ページで変更できます。</p>

ヒント

- 電話機を使用してコールを発信または受信しているときには、ステータス ウィンドウが見えません。
- アシスタント モニタのオンとオフを切り替えるには [モニター] ソフトキーを押します。

関連項目

- [スタートアップ ガイド \(マネージャ側\) \(P.63\)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71\)](#)
- [コールフィルタリングの使用法 \(P.74\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.77\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.79\)](#)

電話機でのマネージャ ステータス メニューの使用法

マネージャ側

電話機の [マネージャ ステータス] メニューを開くには、[サービス] ボタンを押して [Assistant Service] を選択します。表 12 に、[マネージャ ステータス] メニューと関連する作業について説明します。

表 12 [マネージャ ステータス] メニュー項目および関連作業

[マネージャ ステータス] メニュー項目		機能説明
1	フィルタ	コールフィルタリングのオン / オフの切り替え
2	フィルタモード	包含フィルタと排他フィルタの切り替え
3	アシスタント	アクティブ アシスタントとその他の利用可能なアシスタントを表示

関連項目

- [スタートアップ ガイド \(マネージャ側\) \(P.63\)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71\)](#)
- [コールフィルタリングの使用法 \(P.74\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.77\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.79\)](#)

着信コールのアラート トーンの設定

着信コールはマネージャの電話機の画面に表示されますが、呼出音はアシスタントの電話機だけで鳴ります。

手順

着信コールのオーディオ アラートをマネージャの電話機に追加するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [サービス] ボタンを押します。

ステップ 2 [アラートトーン] を選択し、次のように設定します。

ステップ 3 [アラートトーン] を [オン] に設定します。

アラートはコールごとに 1 回鳴ります。

次の場合は、コールが着信してもアラート トーンは再生されません。

- 電話機のアラート トーンをアシスタントの電話機または Assistant Console からオフにした場合
- アシスタント モニタがオフの場合
- コールがアシスタントに自動的にリダイレクトされるように設定した場合

コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法

マネージャ側

電話機の Cisco Unified Communications Manager Assistant ソフトキーを使用して、アクティブ コールの割り込み受信、リダイレクト、転送、および別の処理を行うことができます。

この項では、次のトピックについて説明します。

- [アシスタントの電話機で呼び出し中のコールを割り込み受信する方法 \(P.71\)](#)
- [着信コールを別の番号へただちにリダイレクトする方法 \(P.72\)](#)
- [別の番号にすべてのコールをリダイレクトする方法 \(P.72\)](#)
- [ボイス メッセージ サービスへのコール転送方法 \(P.73\)](#)

アシスタントの電話機で呼び出し中のコールを割り込み受信する方法

マネージャ側

Cisco Unified IP Phone の [**キャッチ**] ソフトキーを押すと、アシスタントの電話機で呼び出し中のコールを割り込んで受信し、自分の電話機にリダイレクトできます。

コールを正常に割り込んで受信するには、アシスタントがコールに応答する前に [**キャッチ**] ソフトキーを押す必要があります。また、すでに接続されたコールを割り込んで受信することはできません。



ヒント

自分宛のコールがアシスタントの電話機で鳴っているときは、電話機にあるステータスウィンドウの [**アシスタントモニタ**] 部分に「発信元」と発信者 ID を含んだテキストが表示されます。

関連項目

- [スタートアップ ガイド \(マネージャ側\) \(P.63\)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71\)](#)
- [コール フィルタリングの使用法 \(P.74\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.77\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.79\)](#)

着信コールを別の番号へただちにリダイレクトする方法

マネージャ側

[リダイレクト] ソフトキーを押すと、呼び出し中、接続済み、または保留中のコールをマネージャの電話機から別の電話機にリダイレクトできます。

デフォルトではリダイレクト機能によって、コールは選択したアシスタントにリダイレクトされます。ただし、マネージャまたはアシスタントは任意の電話番号を転送先として代用できます。

ヒント

- アシスタントが転送先として指定されていてアシスタント モニタがオンの場合には、LCD スクリーンのステータス ウィンドウを見て、コールがアシスタントにリダイレクトされていることを確認できます。
- リダイレクト機能およびすべて転送機能では、同じ転送先を共有します。マネージャまたはアシスタントは [マネージャの設定] 画面からこの転送先を変更できます。

関連項目

- [スタートアップ ガイド \(マネージャ側\) \(P.63\)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71\)](#)
- [コール フィルタリングの使用法 \(P.74\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.77\)](#)
- [マネージャの転送先設定方法 \(P.84\)](#)

別の番号にすべてのコールをリダイレクトする方法

マネージャ側

[アシスタント] ソフトキーを押すと、すべて転送機能のオンとオフを切り替えられます。この機能がオンの場合、着信コールが別の番号にリダイレクトされます。

個々のコールに基づいて起動する [リダイレクト] とは異なり [アシスタント] を使用すると、この機能がオフに設定されるまで、後続のすべての着信コールをリダイレクトできます。

デフォルトでは、転送先は選択したアシスタントです。ただし、マネージャまたはアシスタントは任意の電話番号を転送先として代用できます。たとえば、オフィスを離れている間もコールを受信する場合は、転送先を携帯電話の番号に設定できます。

ヒント

- [マネージャ ステータス] メニューのアイコンはすべて、転送機能のオン / オフを示しています。曲がった矢印は機能がオンであることを示し、直線の矢印は機能がオフであることを示します。
- すべて転送機能は、アシスタントが管理できるマネージャの回線すべてに適用されます。つまり、アシスタントがアクセスできない個人用回線やインターコム回線で受信した着信コールはリダイレクトできません。
- すべて転送機能およびリダイレクト機能では、同じ転送先を共有します。マネージャまたはアシスタントは [マネージャの設定] 画面からこの転送先を変更できます。
- コールフィルタリングとすべて転送を両方とも有効にしている場合、Cisco Unified Communications Manager Assistant はまず着信コールに「コールフィルタリング」を適用します。コールフィルタリングによって、コールは(フィルタ設定に応じて)マネージャまたはアシスタントに送信されません。次に Cisco Unified Communications Manager Assistant はフィルタリングによってマネージャに送信されたコールに対し、すべて転送を適用します。すべて転送機能によってこれらのコールが転送先にリダイレクトされます。
- 電話機ですべてのコールの転送を設定すると、入力したコールの転送番号にすべての着信コールが転送されます。マネージャへのコールはアシスタントには送信されず、転送先にもリダイレクトされなくなります。

関連項目

- [スタートアップガイド \(マネージャ側\) \(P.63\)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71\)](#)
- [コールフィルタリングの使用法 \(P.74\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.77\)](#)
- [マネージャの転送先設定方法 \(P.84\)](#)

ボイス メッセージ サービスへのコール転送方法

マネージャ側

[VM 転送] ソフトキーを押すと、コールをただちに電話機からボイス メッセージ サービスに送信できます。保留中のコールをボイス メッセージ サービスに転送できます。

関連項目

- [スタートアップガイド \(マネージャ側\) \(P.63\)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71\)](#)
- [コールフィルタリングの使用法 \(P.74\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.77\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.79\)](#)

コールフィルタリングの使用法

マネージャ側

コールフィルタリングは、発信者 ID と次の構成および設定に基づいて、着信コールを選択してアシスタントにリダイレクトします。

- フィルタモード
- フィルタリスト
- フィルタのオン / オフ ステータス

表 13 では、これらの各フィルタ設定について詳細に説明しています。



(注) 初期のデフォルト設定では、包含コール フィルタリングがオンでフィルタ リストは空です。したがって、着信コールはすべてアシスタントにリダイレクトされます。フィルタリングのカスタマイズについては、P.85 の「マネージャのフィルタ リスト作成方法」を参照してください。

アシスタントによるコール処理を可能にするには、コール フィルタリングを有効にする必要があります。コール フィルタリングとすべて転送を両方とも有効にしている場合、Cisco Unified Communications Manager Assistant はまず着信コールに「コール フィルタリング」を適用します。コール フィルタリングによって、コールは（フィルタ設定に応じて）マネージャまたはアシスタントに送信されます。次に Cisco Unified Communications Manager Assistant はフィルタリングによってマネージャに送信されたコールに対し、すべて転送を適用します。すべて転送機能によってこれらのコールが転送先にリダイレクトされます。

たとえば、家族からのコールだけを受信するように包含フィルタを設定できます。それ以外のコールはすべて、アシスタントによって処理されます。オフィスを離れる予定の場合は、転送先を携帯電話の番号に設定し、すべて転送機能を有効にしておく、家族からのコールを携帯電話で受信できます。それ以外のコールはすべて、アシスタントによって受信されます。



(注) 電話機ですべてのコールの転送を設定すると、入力したコールの転送番号にすべての着信コールが転送されます。マネージャへのコールはアシスタントには送信されず、転送先にもリダイレクトされなくなります。

表 13 コールフィルタリングの設定

設定	目的	場所	メモ
フィルタモード	<p>フィルタモード設定を使用して、「包含」と「排他」のフィルタリストを切り替えます。</p> <p>包含フィルタリング：このモードでは、Cisco Unified Communications Manager Assistant によって包含フィルタリストの番号と一致する着信コールが「マネージャ」に送信され、残りはアシスタントにリダイレクトされます。</p> <p>排他フィルタリング：このモードでは、Cisco Unified Communications Manager Assistant によって排他フィルタリストの番号と一致する着信コールが「アシスタント」にリダイレクトされ、残りはマネージャに送信されます。</p>	<p>電話機の LCD スクリーンにある [マネージャ ステータス] メニューで、包含と排他のフィルタリストを切り替えます。</p>	<p>初期のデフォルトでは、包含フィルタがアクティブになっています。</p> <p>アシスタントはマネージャに代わって、Assistant Console からフィルタモードを制御できます。</p>
フィルタリスト	<p>フィルタリストは 1 つ以上の電話番号（一部または完全な番号）で構成されます。フィルタリングがオンの場合に新しいコールを受信すると、Cisco Unified Communications Manager Assistant によって発信者 ID がアクティブリストの番号と比較されます。番号が一致するかどうかわびどちらのフィルタリストがアクティブか（包含または排他）に応じ、コールは Cisco Unified Communications Manager Assistant によってマネージャまたはアシスタントにルーティングされます。</p>	<p>フィルタリストは [マネージャの設定] 画面から作成します。[包含フィルタ] タブまたは [排他フィルタ] タブを選択します。</p>	<p>アシスタントはマネージャのフィルタリストを設定できます。初期のデフォルトではフィルタリストは空です。</p>

表 13 コールフィルタリングの設定(続き)

設定	目的	場所	メモ
フィルタのオン / オフステータス	<p>フィルタのオン / オフ設定によって、コールフィルタリングのオンとオフを切り替えます。</p> <p>この機能がオンの場合、すべての着信コールはフィルタの設定に応じて割り込み受信およびリダイレクトされます。</p>	<p>電話機の LCD スクリーンにある [マネージャステータス] メニューで、フィルタリングのオンとオフを切り替えます。</p> <p>[サービス] ボタンを押して [Assistant Service] を選択してから、[フィルタ] を選択します。</p>	<p>フィルタは、初期のデフォルト設定ではオンです。</p>

ヒント

- [マネージャステータス] メニューの円アイコンは、コールフィルタリング機能のオン / オフを示しています。円の中が網目のアイコンはオンを示し、白抜きの円はオフを示します。

関連項目

- [スタートアップガイド \(マネージャ側 \) \(P.63 \)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71 \)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.77 \)](#)
- [マネージャのフィルタリスト作成方法 \(P.85 \)](#)

インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法

オプション機能であるインターコム機能を使用すると、インターコム回線を使用してアシスタントと会話ができます。この機能は、システム管理者によって設定されます。



(注) 電話機でインターコム機能を使用できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

Cisco Unified IP Phone 7941G、7941G-GE、7961G、7961G-GE、7970G、および 7971G-GE

Cisco Unified IP Phone でインターコム コールを発信するには、アシスタントに対応した**インターコム**短縮ダイヤルボタンを押します。

インターコム コールを開始すると、アシスタントのスピーカフォンが自動的に応答します。これで、電話機のスピーカフォン、ヘッドセット、または受話器を使用して会話ができます。アシスタント側では、マネージャと会話するには、アシスタントの電話機の **インターコム** ボタンを押す必要があります。

インターコム コールを終了するには、電話を切ります（またはスピーカ ボタンかヘッドセット ボタンを押します）。

プロキシ回線モードでインターコム コールを開始した場合は、次のような結果になる可能性があります。

- デフォルト アシスタントが設定され、使用可能になっている場合は、そのアシスタントがコールのターゲットとなります。
- デフォルト アシスタントが設定されているが、使用可能になっていない場合は、次に使用可能なアシスタントがコールのターゲットとなります。
- デフォルト アシスタントが設定されているが、使用可能になっていない場合でも、ログインした時点でアクティブ アシスタントが存在しないときは、デフォルト アシスタントがインターコムコールのターゲットのままになります。
- デフォルト アシスタントが設定されていない場合は、現在のアクティブ アシスタントがコールのターゲットとなります。
- デフォルト アシスタントが設定されていない場合、ログイン中に現在のアクティブ アシスタントがオフラインになったときは、次のどちらかになります。
 - 次に使用可能なアシスタントが、インターコム コールのターゲットとなります。
 - 使用可能なアシスタントが存在しない場合は、オフラインになったアシスタントがコールのターゲットのままになります。
- デフォルト アシスタントが設定されていない場合、ログインした時点でアクティブ アシスタントが存在しないときは、インターコム コールのターゲットは存在しません。

Cisco Unified IP Phone 7940G および 7960G

Cisco Unified IP Phone でインターコム コールを発信するには、アシスタントに対応した**インターコム**短縮ダイヤルボタンを押します。

マネージャ側でインターコム コールを開始したときにアシスタントが他のコールに出ていない場合は、両者のスピーカフォンが同時にオープンします。これで、電話機のスピーカフォン、ヘッドセット、または受話器を使用して会話ができます。これは、アシスタント側でマネージャにインターコム コールを発信する場合も同じです。

マネージャ側でインターコム コールを開始したときにアシスタントが他のコールに出ている場合には、インターコム コールがアシスタントの電話機で鳴るので手動で応答する必要があります。また、他のコールに出ているマネージャにアシスタントがインターコム コールを発信した場合も、手動で応答する必要があります。

インターコム コールを終了するには、電話を切ります（またはスピーカ ボタンかヘッドセット ボタンを押します）。

関連項目

- [スタートアップ ガイド \(マネージャ側\) \(P.63\)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71\)](#)
- [コール フィルタリングの使用法 \(P.74\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.79\)](#)

電話機での呼出音の消音方法

マネージャ側

電話機の呼出音を消音するには、[サイレント] ソフトキーを押して、サイレント機能のオン / オフを切り替えます。



(注) 電話機でサイレント機能を使用できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

この機能がオンの場合、Cisco Unified IP Phone の呼出音は使用できません。サイレント機能によって、電話機の全回線で呼出音が無効になります。



(注) インターコムは、サイレント機能の影響を受けません。

サイレント機能は、Cisco Unified IP Phone の LCD スクリーンの [マネージャ ステータス] メニュー内でベルの形のアイコンで表されます。線で消されたベルのアイコンは、機能がオンで IP Phone での呼出音が無効であることを示します。アシスタントの電話機の呼出音は有効のままです。ベルの形のアイコンは、機能がオフで呼出音が無効であることを示します。

初期のデフォルトではオフに設定されています。

ヒント

- この機能は、コールフィルタリングに影響しません。

関連項目

- [スタートアップガイド \(マネージャ側\) \(P.63\)](#)
- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71\)](#)
- [コールフィルタリングの使用法 \(P.74\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.77\)](#)

マネージャ機能の設定方法

マネージャおよびアシスタントは、[マネージャの設定] 画面からマネージャ の設定を変更できます。マネージャは Web サイトから、アシスタントは Assistant Console から、この画面にアクセスできます。

システム管理者により、共有回線モードまたはプロキシ回線モードのどちらかで動作するように Cisco Unified Communications Manager Assistant 設定が選択されています。プロキシ回線モードで動作するように Cisco Unified Communications Manager Assistant が設定されている場合は、デフォルトのアシスタントの割り当て、転送先の設定、およびフィルタ リストの作成を行うことができます。共有回線モードで動作するように Cisco Unified Communications Manager Assistant が設定されている場合は、転送先の設定だけを行うことができます。共有回線モードでは、デフォルトのアシスタントを割り当てることも、コールを選択してアシスタントに送信するフィルタを設定することもできません。

初期のデフォルト設定により、マネージャは最初に設定しなくても Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用できます。

関連項目

- [共有回線モードとプロキシ回線モードの説明 \(P.2\)](#)
- [マネージャの設定画面へのアクセス方法 \(P.81\)](#)
- [マネージャへのデフォルト アシスタントの割り当て方法 \(P.83\)](#)
- [マネージャの転送先設定方法 \(P.84\)](#)
- [マネージャのフィルタ リスト作成方法 \(P.85\)](#)

マネージャの設定画面へのアクセス方法

次のトピックのどちらかを参照してください。

- [マネージャの設定画面へのアクセス方法 \(マネージャ側\) \(P.81\)](#)
- [マネージャの設定画面へのアクセス方法 \(アシスタント側\) \(P.82\)](#)

マネージャの設定画面へのアクセス方法 (マネージャ側)

マネージャは Web サイトを使用して [マネージャの設定] ページにアクセスします。URL はシステム管理者から入手できます。

手順

ステップ 1 Microsoft Windows 2000 が稼働しているコンピュータで、Microsoft Internet Explorer (Microsoft IE) を開きます。

IE のバージョンは 5.5 またはそれ以降である必要があります。

ステップ 2 システム管理者から入手した URL を開きます。URL は `http://<IP アドレス>/ma/desktop/maLogin.jsp` のような形式になります。

Cisco Unified Communications Manager Assistant ソフトウェアをインストールするかどうかを尋ねるポップアップ ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 「Cisco Systems Inc. からの内容を常に信頼」という文章への同意を示すため、チェックボックスをオンにします。その後、[はい] をクリックします。

[Cisco IPMA ログイン] ページが表示されます。

ステップ 4 ユーザ名とパスワードを (システム管理者が付与したとおりに) 入力し、[ログイン] をクリックします。

[マネージャの設定] 画面が表示されます。

ステップ 5 ログアウトする準備ができたなら、ブラウザ ウィンドウを閉じます。必要に応じて、ステップ 1 ~ ステップ 5 を繰り返します。

関連項目

- [マネージャへのデフォルト アシスタントの割り当て方法 \(P.83 \)](#)
- [マネージャの転送先設定方法 \(P.84 \)](#)
- [マネージャのフィルタ リスト作成方法 \(P.85 \)](#)

マネージャの設定画面へのアクセス方法 (アシスタント側)

アシスタントは Assistant Console から [マネージャの設定] 画面にアクセスできます。

特定マネージャのウィンドウにアクセスするには、Assistant Console にある [マイマネージャ] パネルの対象となるマネージャの列で任意の場所を右クリックします。その後、ポップアップ メニューから [設定] を選択します。

すべてのマネージャのウィンドウにアクセスするには、メニューバーで [マネージャ] > [設定] を選択します。必要に応じて、機能を設定するマネージャを [マネージャ] ドロップダウン リストから選択します。

関連項目

- [マネージャへのデフォルト アシスタントの割り当て方法 \(P.83 \)](#)
- [マネージャの転送先設定方法 \(P.84 \)](#)
- [マネージャのフィルタ リスト作成方法 \(P.85 \)](#)

マネージャへのデフォルト アシスタントの割り当て方法

マネージャの設定済みアシスタントの 1 人を「デフォルト」アシスタントとして識別できます。

可能な場合はいつでも、Cisco Unified Communications Manager Assistant により、マネージャのアクティブアシスタントとしてデフォルト アシスタントが割り当てられます。デフォルト アシスタントがログインしていない場合は、Cisco Unified Communications Manager Assistant によって別のアシスタントが（可能な場合は）割り当てられてアクティブ アシスタントになります。デフォルト アシスタントがログインすると、Cisco Unified Communications Manager Assistant によって、デフォルト アシスタントがアクティブな状態でコールを処理するように、アシスタントが切り替えられます。

手順

ステップ 1 [マネージャの設定] 画面から [デフォルトのアシスタント] タブをクリック（必要な場合）して [デフォルトのアシスタントの選択] ウィンドウを表示します。

ステップ 2 アシスタント ドロップダウン メニューから適切なアシスタントを選択します。

ステップ 3 変更を保存します。

関連項目

- [マネージャの設定画面へのアクセス方法 \(P.81\)](#)
- [マネージャの転送先設定方法 \(P.84\)](#)
- [マネージャのフィルタ リスト作成方法 \(P.85\)](#)

マネージャの転送先設定方法

プロキシ回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するマネージャは、すべて転送機能およびリダイレクト機能を使用して、(「転送先」と呼ばれる) アシスタントまたは別の電話番号にコールを送信できます。すべて転送機能およびリダイレクト機能では、同じ転送先を共有します。

共有回線モードで Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するマネージャは、転送先を設定し、コールが着信したら [リダイレクト] ソフトキーを使用してコールを転送できます。ログインすると、転送画面が自動的に表示されます。

初期のデフォルトでは、転送先がマネージャのアクティブ アシスタントになっています。マネージャとアシスタントは、次の手順を使用してこの転送先を変更できます。

手順

ステップ 1 [マネージャの設定] 画面から [転送] タブをクリックして [転送の設定] 画面を表示します。

ステップ 2 (プロキシ回線モードのみ) [電話番号] または [アシスタント] を選択します。

ステップ 3 [電話番号] を選択した場合は、有効な電話番号を入力します。オフィスの電話からダイヤルする場合とまったく同じように番号を入力します。

ステップ 4 変更を保存します。

関連項目

- [コールの割り込み受信、リダイレクト、転送の方法 \(P.71\)](#)
- [マネージャの設定画面へのアクセス方法 \(P.81\)](#)
- [マネージャへのデフォルト アシスタントの割り当て方法 \(P.83\)](#)
- [マネージャのフィルタ リスト作成方法 \(P.85\)](#)

マネージャのフィルタ リスト作成方法

フィルタ リストを使用して、マネージャまたはアシスタントはマネージャのコール フィルタリング機能をカスタマイズできます。

デフォルトではフィルタ リストは空です。フィルタ リストに番号を追加してカスタマイズします。フィルタ モードを選択して、「包含」と「排他」のフィルタ リストを切り替えます。

- 包含：包含フィルタ リストにある番号と一致するコールが「マネージャ」に送信され、残りはアクティブアシスタントにリダイレクトされます。
- 排他：排他フィルタ リストにある番号と一致するコールが「アシスタント」にリダイレクトされ、残りはマネージャに送信されます。

Cisco Unified Communications Manager Assistant によって、着信コールの発信者 ID がアクティブ フィルタ リストの電話番号と比較されます。

たとえば、電話番号 54321 をマネージャの包含フィルタ リストに追加した場合、包含フィルタリングがオンであれば、54321 からオフィスのマネージャの電話機にかかるすべての着信コールが、(アシスタントでなく) マネージャにルーティングされます。

あるいは、マネージャの排他フィルタ リストに番号 54xxx を追加した場合、排他フィルタリングがオンであれば、番号が 54 で始まる 5 桁番号の電話回線からのすべての着信コールが、(マネージャでなく) アシスタントにルーティングされます。



(注) 任意の時点でアクティブにできるフィルタ モードは、1 つだけです(包含または排他)。マネージャは、電話機の Cisco Unified Communications Manager Assistant メニューでフィルタ モードを切り替えられます。アシスタントは、Assistant Console からマネージャのフィルタ モードを切り替えられます。

フィルタ リストには、次のワイルドカードを使用することができます。

- x : x を使用すると、フィルタの任意の場所で「単一の」桁を置き換えられます。たとえば、「123x5」は 5 桁の電話番号を表し、4 番目の桁は 0 ~ 9 になります。x は大文字または小文字が使用できます。
- * : * を使用すると、フィルタの最初または最後で「複数の」桁を置き換えられます。たとえば、「5*」は 5 で始まる任意の長さの電話番号を表します。

ワイルドカードの他に、フィルタ リストにはハイフン (-)、ピリオド (.) およびブランクを使用することができます。

ヒント

フィルタ リストは空にしておくことができます。初期のデフォルトでは、フィルタは有効で包含フィルタ リストは空になっています。これは、マネージャの着信コールはすべてアシスタントにリダイレクトされることを意味します。

マネージャ側：マネージャの電話機からフィルタ リストを有効にします。有効にするには、電話機で Cisco Unified Communications Manager Assistant メニューを開きます。フィルタ機能のオンとオフを切り替えるには 1 を押し、包含フィルタと排他フィルタのモードを切り替えるには 2 を押します。

マネージャとアシスタントは、次の手順を使用してフィルタ リストを作成できます。

手順

ステップ 1 [マネージャの設定]画面から[包含フィルタ]タブまたは[排他フィルタ]タブをクリックして、適切な設定ウィンドウを表示します。

ステップ 2 [フィルタ]フィールドに、電話番号の一部またはすべてを入力します。

ヘルプが必要な場合は、[詳細情報]リンクをクリックするとフィルタの例を表示できます。

ステップ 3 フィルタは次のようにして追加、置換、または削除できます。

- 新しいフィルタを追加するには、[フィルタ]フィールドにフィルタを入力して[追加]をクリックします。
新しいフィルタがフィルタリストに表示されます。
- 既存のフィルタを新しいフィルタに置き換えるには、修正する既存フィルタをフィルタリストで選択します。[フィルタ]フィールドで必要に応じてフィルタを変更し、[置換]をクリックします。
修正されたフィルタがフィルタリストに表示されます。
- フィルタを削除するには、フィルタリストでフィルタを選択して[削除]をクリックします。
削除されたフィルタはフィルタリストから除去されます。

ステップ 4 変更を保存します。

ヒント

- コールフィルタリングとすべて転送を両方とも有効にしている場合、Cisco Unified Communications Manager Assistant はまず着信コールに「コールフィルタリング」を適用します。コールフィルタリングによって、コールは(フィルタ設定に応じて)マネージャまたはアシスタントに送信されません。次に Cisco Unified Communications Manager Assistant はフィルタリングによってマネージャに送信されたコールに対し、すべて転送を適用します。すべて転送機能によってこれらのコールが転送先にリダイレクトされます。
- Cisco Unified Communications Manager Assistant ステータス ウィンドウの円アイコンは、コールフィルタリング機能のオン / オフを示しています。円の中が網目のアイコンはオンを示し、白抜きの円はオフを示します。

関連項目

- [コールフィルタリングの使用方法 \(P.74\)](#)
- [マネージャの設定画面へのアクセス方法 \(P.81\)](#)
- [マネージャへのデフォルト アシスタントの割り当て方法 \(P.83\)](#)
- [マネージャの転送先設定方法 \(P.84\)](#)

Index

A

Assistant Console

- ~からのインターコムの使用 27
- ~からのコール処理 32
- 起動 10
- コール制御ボタン 13
- ~のキーボードショートカット 29
- ~の部分の識別 12
- ~のメニュー 13
- ~のログアウト 11
- ~へのログイン 10
- マウスとキーボードによる操作 25
- マネージャをサポートせずにアクセス 11
- レイアウトのカスタマイズ 23

C

Cisco Unified Communications Manager Assistant、定義

vi

Cisco Unified IP Phone

- アシスタント 42
- 共有回線 (マネージャ) 56
- ~のステータス ウィンドウ (マネージャ) 65
- ~のソフトキー (アシスタント) 42
- ~のソフトキー (マネージャ) 58, 71
- プロキシ回線 (マネージャ) 62

V

VM 転送ソフトキー

- マネージャ 58, 73

あ

アシスタント

- 識別 (マネージャ) 63
- 選択 (マネージャ) 63
- デフォルト 83
- ~の電話回線 17
- ~の電話機の呼出音のカスタマイズ 55

アシスタント ソフトキー

- 使用方法 72
- マネージャ ターゲット 84

アシスタント モニタ

- ~でのキャッチ ソフトキーの使用 71
- マネージャ 65

アシスタントの選択

- 概要 63

アラート トーン 70

い

インターコム

- Assistant Console からの使用 27
- 電話機での使用 (マネージャ) 59, 77

お	
応答ボタン	34
オフライン ボタン	11
オフライン状態	
監視	23
オンライン ヘルプ、使用方法	viii
き	
キーボードショートカット	29
キーボード、~でのコンソール操作	25
キャッチ ソフトキー、マネージャ	71
共有回線	
共有回線モードでの Manager Assistant の使用方法	2
マネージャの電話機の使用法	56
マネージャの電話機のステータス ウィンドウ	4
こ	
コール	
表示方法	17
コールフィルタリング	
すべて転送での	87
~の説明	74
~のリスト	85
モード	85
コール処理	
Assistant Console からの	32
アシスタントの電話機からの	42
コール制御ボタンでの	14, 47
マネージャの電話からの	58, 71
コール制御ボタン	14, 47
監視	23
~の定義	13
コールのインタセプト	71
コールの迂回転送	
マネージャ	58, 72
コールの終了	34
コールの切断	34
コールの即時転送	
アシスタント	39
コールの転送	36
コールの発信	33
コールの保留	35
コールへの応答	34
コール保留	
コールを保留解除する	35
コールを保留にする	35
コンソール	
~からのダイヤル	33
さ	
サーバ	
~への接続	23
設定	24
サイレント ソフトキー	61, 79
サイレント機能	61, 79
し	
終了ボタン	34

- す
 - ステータス ウィンドウ
 - マネージャ 65
 - ステータスバー
 - 使用方法 23
 - すべて転送
 - コールフィルタリングとの 87
 - すべてのコールを転送 72

- せ
 - 接続済みステータス
 - 監視 23
 - 変更 11
 - 設定
 - 管理用 24

- そ
 - ソフトキー
 - マネージャ 58, 71

- た
 - 打診転送ボタン 36
 - 短縮ダイヤル 21

- て
 - ディレクトリ
 - 使用方法 22
 - ディレクトリ パネル 22

- デフォルト アシスタント
 - 割り当て 83
- 転送先、設定
 - アシスタント 39
 - マネージャ 84
- 転送ボタン 36
- 電話会議、設定 38
- 電話機での消音 61, 79
- 電話機のアイコン
 - 機能設定の (マネージャ) 66, 67
 - サイレント (マネージャ) 61, 79
 - すべて転送 (マネージャ) 72
 - フィルタリング (マネージャ) 76

- は
 - 排他フィルタ
 - ~の定義 74
 - 排他フィルタ リスト
 - 作成 85
 - 番号のダイヤル 33

- ふ
 - フィルタリング
 - ~の説明 74
 - ~のリスト 85
 - ブラインド転送 36
 - 実行 36
 - プロキシ回線
 - プロキシ回線モードでの Manager Assistant の使
用方法 3
 - マネージャの電話機の使用
方法 62

マネージャの電話機のステータス ウィンドウ		マネージャの回線	
4, 5		マイコール パネルの	17
		マイマネージャ パネルの	18
ほ		マネージャの設定画面	
ボイスメール		使用方法	80
~へのコールの送信 (アシスタント)	41	マネージャのプロキシ回線	17
~へのコールの送信 (マネージャ)	58, 73		
ボイスメールに転送ボタン	41	め	
包含フィルタ		メニューバー	
~の定義	74	Assistant Console 上の	13
包含フィルタ リスト			
作成	85	よ	
ボタン		呼出音の選択	55
識別	13		
保留解除	35	り	
保留解除ボタン	35	リダイレクトソフトキー	
保留ボタン	35	マネージャ	58, 72
		マネージャ ターゲット	84
ま		リダイレクト ボタン	
マイコール パネル	17	使用方法	39
マイマネージャ パネル	18	設定	39
マウス		リダイレクト ボタン (アシスタント)	
~での Assistant Console の操作	25	使用方法	39
マニュアル			
Cisco Unified IP Phone の	ix	ろ	
~の構成	vii	ログアウト、アシスタント	11
マネージャ		ログイン、アシスタント	10
監視	18		
~のオンライン状態	18		
~の機能状態	18		
~の機能の設定	80		

わ

ワイルドカード

フィルタ リスト中の 85

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices.

CCVP, the Cisco Logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(0704R)

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ株式会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00